

中能登町

春木 A・B 遺跡
新庄 遺跡

2009

石川県教育委員会
(財)石川県埋蔵文化財センター

はる き
春木 A・B 遺跡
しん じょう
新 庄 遺 跡

2 0 0 9

石 川 県 教 育 委 員 会
(財)石川県埋蔵文化財センター

例言

- 1 本書は春木 A・B 遺跡、新庄遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 遺跡の所在地は鹿島郡中能登町春木地内と新庄地内である。
- 3 調査原因は道路改良工事一般県道瀬戸・春木線であり、同事業を所管する石川県土木部道路建設課が石川県立埋蔵文化財センターに発掘調査を依頼したものである。
- 4 調査に係る費用は、石川県土木部道路建設課が負担した。
- 5 現地調査は昭和60（1985）年度と昭和62（1987）年度、昭和63（1988）年度に実施した。期間・面積・担当者は下記のとおりである。

春木 A・B 遺跡

調査年度	昭和60年度	昭和62年度
期 間	昭和60年 7月29日～同年10月28日	昭和62年 9月16日～同年10月16日
面 積	2,000㎡	2,000㎡
担当者	田嶋明人(専門員)、中島俊一(主査)	田嶋明人(専門員)、岡本恭一(主事)、伊藤雅文(嘱託)

新庄遺跡

調査年度	昭和62年度	昭和63年度
期 間	昭和62年10月16日～同年12月16日	昭和63年 5月23日～同年11月 2日
面 積	1,500㎡	1,500㎡
担当者	田嶋明人(専門員)、岡本恭一(主事)、伊藤雅文(嘱託)	岡本恭一(主事)

- 6 出土品整理は石川県立埋蔵文化財センターが平成元（1989）年度と平成 2 年度に社団法人石川県埋蔵文化財保存協会に委託し、実施した。
- 7 報告書の刊行は財団法人石川県埋蔵文化財センター調査部県関係調査グループが担当し、岡本恭一（専門員）が執筆・編集した。
- 8 調査には下記の機関・個人の協力を得た。
石川県土木部道路建設課・鳥屋町教育委員会・田畑 弘・宮下栄仁
- 9 調査に関する記録と出土品は石川県埋蔵文化財センターで保管している。
- 10 本書についての凡例は下記のとおりである。
 - (1) 方位は磁北である。
 - (2) 水平基準は海拔高である。
 - (3) 出土遺物番号は挿図と写真で対応する。

目 次

第1章 調査に至る経緯と経過	1
第1節 調査に至る経緯	1
第2節 調査の経過	1
第3節 出土品の整理	2
第2章 遺跡の位置と環境	3
第1節 地理的環境	3
第2節 歴史的環境	3
第3章 春木A・B遺跡	6
第1節 調査の概要	6
第4章 新庄遺跡	23
第1節 遺構の概要	23
第2節 出土遺物	26

挿 図 目 次

第1図	春木 A・B、新庄遺跡の位置	3	第24図	出土土器 (S=1/3)	48
第2図	春木 A・B 遺跡、新庄遺跡と周辺の遺跡 (S=1/25,000)	5	第25図	出土土器 (S=1/3)	49
第3図	春木 A・B 遺跡調査区配置図 (S=1/800)	7・8	第26図	出土土器 (S=1/3)	50
第4図	60年度調査区実測図 (S=1/200)	9・10	第27図	出土土器 (S=1/3)	51
	(S=1/100)	11・12	第28図	出土土器 (S=1/3)	52
第5図	1区遺構分布図 (S=1/50)	13・14	第29図	出土土器 (S=1/3)	53
第6図	2区遺構分布図 (S=1/50)	15・16	第30図	出土土器 (S=1/3)	54
第7図	3区遺構分布図 (S=1/80)	17・18	第31図	出土土器 (S=1/3)	55
第8図	4区遺構分布図 (S=1/50)	19・20	第32図	出土土器 (S=1/3)	56
第9図	5区遺構分布図 (S=1/80)	21・22	第33図	出土土器 (S=1/3)	57
第10図	新庄遺跡調査区配置図 (S=1/500)	27・28	第34図	出土土器 (S=1/3)	58
第11図	A区遺構実測図 (S=1/100)	29・30	第35図	出土土器 (S=1/3)	59
第12図	A区生垣・道状遺構実測図 (S=1/50)	32	第36図	出土土器 (S=1/3)	60
第13図	B区遺構実測図 (S=1/125)	33・34	第37図	出土土器 (S=1/3)	61
第14図	B区土坑1・土坑2・溝4実測図 (S=1/20)	35・36	第38図	出土土器 (S=1/3)	62
第15図	B区河道実測図 (S=1/100)	37・38	第39図	出土土器 (S=1/3)	63
第16図	C区遺構実測図 (S=1/100)	39・40	第40図	出土土器 (S=1/3)	64
第17図	C区掘立柱建物1実測図 (S=1/50)	41	第41図	出土土器 (S=1/3)	65
第18図	C区溝2・溝4実測図 (S=1/50)	42	第42図	出土土器 (S=1/3)	66
第19図	出土土器 (S=1/3)	43	第43図	出土土器 (S=1/3)	67
第20図	出土土器 (S=1/3)	44	第44図	出土土器 (S=1/3)	68
第21図	出土土器 (S=1/3)	45	第45図	出土土器 (S=1/3)	69
第22図	出土土器 (S=1/3)	46	第46図	出土土器 (S=1/3)	70
第23図	出土土器 (S=1/3)	47	第47図	出土土器 (S=1/3)	71
			第48図	出土土器 (S=1/3)	72
			第49図	出土土器 (S=1/3)	73
			第50図	出土土器 (S=1/3)	74

表 目 次

第1表	周辺の遺跡名一覧	5
第2表	出土土器観察表	75

写真図版目次

- 図版1 春木1号塚(北から)
1号塚(北東から)
- 図版2 斜面・平坦面地区(西から)
同 上(北西から)
斜面地区(東から)
平坦面地区調査状況(西から)
1号塚調査状況(南から)
同 上
平坦面地区調査状況(西から)
1号塚遺物出土状況
- 図版3 1号塚遺物出土状況
同 上
1号塚周溝検出状況(南から)
同 上(東から)
春木A・B遺跡2区遺構検出作業(西から)
3区検出遺構(西から)
3区小穴掘削状況(北から)
5区土層堆積状況(東から)
- 図版4 新庄遺跡A区掘立柱建物1(西から)
A区生垣状痕跡(西から)
A区道状遺構検出状況(西から)
A区道状遺構掘削状況(西から)
B区土坑1遺物出土状況(北から)
B区溝4遺物出土状況(南から)
B区河道掘削状況(西から、62年度調査)
同 上(南東から、63年度調査)
- 図版5 C区遺構検出状況(北から)
C区溝1・溝2等検出状況(南から)
C区河道から引き込む箇所を検出状況(南から)
C区溝4土器ダマリ(北東から)
C区溝2遺物出土状況(南から)
C区溝2土層断面(北から)
C区溝4完掘状況(北から)
C区河道完掘状況(北東から)
- 図版6 A区完掘状況(南から)
C区完掘状況(西から)
- 図版7 出土土器
- 図版8 出土土器
- 図版9 出土土器
- 図版10 出土土器
- 図版11 出土土器
- 図版12 出土土器
- 図版13 出土土器
- 図版14 出土土器
- 図版15 出土石器
- 図版16 出土石器

第1章 調査に至る経緯と経過

第1節 調査に至る経緯

調査の原因は石川県土木部道路建設課が計画した道路改良工事一般県道瀬戸・春木線に係るものである。発掘調査は昭和60年7月22日付け、道建発第229号で石川県立埋蔵文化財センターが依頼を受けたものである。

事業計画自体はそれ以前から策定されていたものであるが、その時点での石川県土木部道路建設課の埋蔵文化財保存に対する認識は低いものであった。春木A・B遺跡は周知の遺跡であり、事業計画地の低丘陵部ですでに総計7基の古墳群と集落遺跡の所在が確認されていた。

石川県立埋蔵文化財センターは鳥屋町の春木・大槻地内の低丘陵部の現地踏査を昭和56年度に実施し、昭和57年度に路線内の試掘調査でその結果を追認した。

その結果をもとに石川県土木部道路建設課と遺跡の保護について協議が持たれた。路線の変更は極めて難しかったが、遺跡の分布の比較的希薄な箇所と想定された丘陵緩斜面部分を主体とした路線を通すということで合意に達した。

しかしながら、古墳1基と集落遺跡の一部が路線にかかり記録保存の調査対象となった。

対象となる記録保存の遺跡の総面積は6,000㎡を超え、単年度で対応することが困難であったため、年度別に2,000㎡毎調査を実施することで石川県土木部道路建設課と合意した。また、調査に係る費用についても石川県土木部道路建設課が負担することで合意した。

第2節 調査の経過

60年度調査は古墳の所在する「マルヤマ」を中心に昭和60年7月29日から同年10月28日まで現地調査を行った。

62年度調査では60年度調査の成果をもとに、表土除去については人力で行うより重機で行った方が効率的であり、また、遺構もほとんど傷めないと考えられたため60年度調査区から20m離れた箇所から約20m毎に畦を残しバックホーで表土を除去し、切り株は出来るだけ残すように努めた。

表土除去作業は9月16日から行い、3日間で終了した。表土は黒褐色のサラサラした土であったが、遺構検出面は黄褐色の粘質土で遺構検出のしにくいものであった。

表土が肥えていたせいか、または、調査時期が秋ということもあり、切り株のまわりに「ヒメサクラシメジ」当地で言うアズキゴケが多量に発生していた。

検出面上の遺構は輪郭が定めがたく、繰り返し検出作業を行った。その結果、この地では遺跡は希薄であるという試掘調査の結果のとおりであり、その間に田嶋専門員が二宮川を挟んだ沖積平野の新庄地内の路線内において試掘調査を行い旧鳥屋町立第4保育所隣の水田において、多量の遺物を出土する新しい遺跡「新庄遺跡」を発見した。これが今回同時に報告する新庄遺跡である。

岡本・伊藤がその報を受け、春木A・B遺跡の精査を終え、新庄遺跡の発掘調査に赴くために遺跡を後にしたのは10月16日であった。

岡本・伊藤が新庄遺跡に立ったのは10月も半ばであり、二面以上の遺構面が想定され、とうてい全面発掘は難しく、石川県土木部道路建設課との協議では、邑知地溝帯排水路13号線に係る橋脚工事を

優先したいとする石川県土木部道路建設課の意向が優先され、調査区の南半分（新庄遺跡B区河道部分の半分）を完掘（工事用作業道路のため）することで調整がなされた。

そのため、伊藤を中心として南半分の古墳時代前期の河道を完掘するため、全力が投入され、イス走り状に段差を付けて掘削し、河底を確認した。しかし、河道内の覆土は砂礫土が中心で非常に崩れやすく調査終了間際の12月15日まで掘り続け、土層断面も随時書き加えていった。

63年度調査では、前年の調査結果を参考にB区では一部（河道の残りの箇所）であるが長さ12mの矢板で調査区を囲むこと、C調査区では調査区全体を矢板で囲むことを石川県土木部道路建設課に要望し、その設計・施工を、また、排水路際であるためかなりの量の湧水が予想され、動力の電気設備の設置を行っていただいた。

現地調査は矢板工事の完了した5月23日にB区から着手し、A区・C区と随時調査を進め11月2日で調査を終了した。

第3節 出土品の整理

石川県立埋蔵文化財センターは、出土品の整理作業を社団法人石川県埋蔵文化財保存協会に委託し、同保存協会が平成元年度と2年度にこれを実施した。作業内容は遺物の接合・復元・実測・トレースであった。

第2章 遺跡の位置と環境

第1節 地理的環境

春木 A・B 遺跡と新庄遺跡は石川県鹿島郡中能登町春木の低丘陵上と新庄地内の平野に二宮川を挟んで所在する。中能登町は能登半島の基部に位置し、北は七尾市、東は富山県氷見市、南は羽咋市、西は羽咋郡志賀町に接する。地形的には羽咋市の海岸部から幅 2～4 km、長さ約 30 km で七尾湾に向かって延びる邑知地溝帯を主体とする平野部と東側は標高 565 m の石動山を最高峰とする石動山系、西側は標高 200 m～300 m 前後の眉丈山系などの低山地域から成る。また、石動山を源とする二宮川が地溝帯を北流して七尾西湾に流出し、同山系を水源とする長曾川が地溝帯を南西に貫流して羽咋市の邑知湯に注ぐ。両河川の水源地帯は地質軟弱な地すべり地帯である。そのうえ急流のため土砂の流出が著しく天井川となっており、近世以降の災害記録などから、流路変遷の著しいことが想定されている。



第1図 春木 A・B、新庄遺跡の位置

第2節 歴史的環境

中能登町においての遺跡の在り方は、眉丈山系では前面および山麓部に集中が見られ、石動山系でも山麓部を中心とした集中と長曾川の自然堤防上に集中が見られるが、地溝帯中央部については一見疎に見える。しかし、これは厚い扇状地堆積物に阻まれて、本来の姿を見せていないと考えられている。

旧石器時代の遺跡は中能登町では確認例がない。

縄文時代では瀬戸伊助谷 A 遺跡と末坂遺跡から楕円形文土器が採集されており、遺跡自体は調査が行われていないため詳細は不明であるが、早期と考えられている。前期初頭の主な遺跡としては花見月遺跡があり、前期初頭から後期中葉の遺物が出土し長期にわたる集落の可能性があると確認されている。徳前 C 遺跡からは前期後葉から中期中葉頃までの遺物が出土している。徳丸遺跡では中期から晩期の遺物や石囲炉を持つ堅穴建物、埋甕などが発見された。その他、標高 320 m の高所に位置する福田原山遺跡では、中期初頭から後期初頭の土器が出土しているが、遺物量や密度も希薄なため、季節的なキャンプサイトと考えられている。

弥生時代では前期の遺跡は詳細が不明だが、中期では眉丈山丘頂に位置する高地性集落である杉谷チャノバタケ遺跡が知られる。環濠が検出され、堅穴建物からは籾状炭化米もみついている。後期になると多量の土器、木製品とともに堅穴建物、掘立柱建物が検出された徳前 C 遺跡などが知られている。新庄地内でも新庄弥生遺跡の存在が知られているが、詳細は不明である。

古墳時代には、地溝帯中央部の低地帯を挟んで対峙するように古墳群が形成され、西側眉丈山には

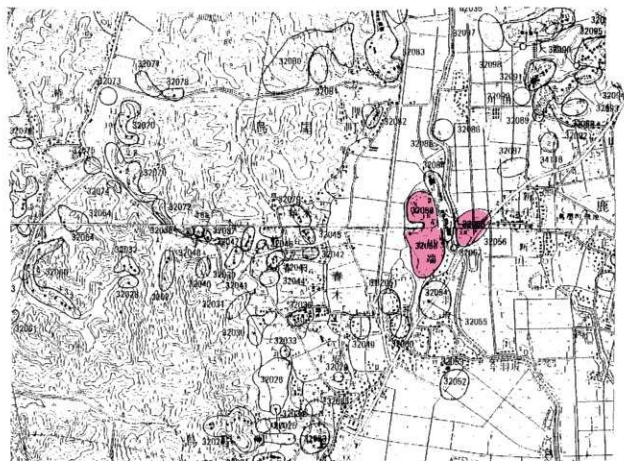
雨の宮古墳群など100基を超える古墳の分布が知られ、低地帯の東側に位置する石動山系でも100基程度が丘陵先端尾根上や山麓傾斜面上に分布し、4世紀後半の小田中親王塚古墳、小田中亀塚古墳などが知られる。また、春木A・B遺跡に隣接して大槻古墳群などが造営される。その他、新庄地内にも「大塚」、「小塚」と呼ばれる古墳が新庄八幡神社社殿背後に存在する。神社は神官卜部刑部が岩清水八幡宮を勧請したと伝えられ、集落の西で北方に向かって舌状に緩やかに伸びる台地上に立地する。「大塚」は直径約20m、高さ約9mを測り、竪穴式石室を持つ6世紀前半の円墳と考えられている。「小塚」は直径約10m、高さ約4mの円墳と見られ、刑部の墓という伝承を持つが、古墳につきものの伝承の一つと考えられている。また、古墳以外の遺跡として、旧鳥屋町域では、須恵器の生産を行っていた窯跡群が確認されており、5世紀代から生産を開始した深沢窯跡群などが知られる。

古代では、低地部の集落遺跡と眉丈山系の窯跡群が目立つ。集落遺跡では、新庄遺跡の他、奈良時代前半期の掘立柱建物を検出した徳前C遺跡や平安時代の建物跡を検出した一青B遺跡や、武部シヨウブダ遺跡などでも建物跡などが多数確認されている。また、窯跡群では、眉丈山系の末坂から春木、瀬戸にかけて須恵器の窯跡が数多く分布しており、多くは7世紀後半～10世紀代に属する。

中～近世の遺跡としては新庄遺跡の他、多数の井戸などを検出した谷内ブンガヤナ遺跡や、良川沖遺跡、春木斉藤館跡、免田中世城遺跡、長楽寺跡などがある。

参考・引用文献

- 石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター 2007 『久江サザミヤシキ遺跡』
- 石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター 2006 『新庄遺跡』
- 石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター 2004 『徳丸遺跡』
- (財)石川県埋蔵文化財センター 1999 『鳥屋町一青B遺跡』
- 石川県教育委員会 1991 『石川県遺跡地図』
- 平凡社 1991 『日本歴史地名体系第17巻 石川県の地名』
- 鳥屋町 1955 『鳥屋町史』



第2図 春木A・B遺跡、新住遺跡と周辺の遺跡 (S=1/25,000)

第1表 周辺の遺跡名一覧

遺跡番号	遺跡名	種別	時代	遺跡番号	遺跡名	種別	時代	遺跡番号	遺跡名	種別	時代	
32023	鳥居小学校遺跡	散布地	不詳	32047	春木壺谷D窯跡群	窯跡	奈良	32076	若狭見遺跡	窯跡	平安	
32024	末坂古墳群	古墳	古墳	32048	春木壺谷遺跡	散布地	縄文	32079	春木壺谷B窯跡群	窯跡	平安	
32025	末坂白山神社前遺跡	散布地	中世	32049	春木安藤製遺跡	群跡	江戸中期	32080	大槻別荘遺跡	庭園跡	奈良・平安	
32026	末坂遺跡	散布地	縄文・奈良・平安	32050	羽坂川遺跡	散布地	弥生	32081	高池寺遺跡	散布地	奈良・平安	
32027	末坂1・2号窯跡	窯跡	平安	32051	安楽寺跡	寺院跡	江戸中期	32082	大槻小杉谷1~3号墳	古墳	古墳	
32028	末坂3号窯跡	窯跡	平安	32052	手間神社遺跡	散布地	平安	32083	辻谷8~14号墳	古墳	古墳	
32029	末坂4号窯跡	窯跡	平安	32053	茨塚古墳	古墳	古墳	32084	大槻1~11号墳	古墳	古墳	
32030	末坂A窯跡群	窯跡	平安	32054	羽坂遺跡	古墳	古墳	32085	新住古墳	古墳	古墳	
32031	末坂B遺跡	散布地	奈良・平安	32055	羽塚古墳	古墳	古墳	32086	新住神社跡遺跡	散布地	縄文	
32032	末坂C窯跡群	窯跡	平安	32056	新住遺跡	集落跡	古墳・平安・中世	32087	新住弥生遺跡	散布地	弥生	
32033	末坂D窯跡群	窯跡	平安	32057	大槻塚穴群	積穴墓	古墳	32088	川田向山古墳群	散布地	古墳~平安	
32034	末坂E窯跡群	窯跡	奈良	32058	春木A・B遺跡	集落跡	不詳	32089	川田塚穴群・塚穴墓	積穴墓	古墳	
32035	末坂F遺跡	散布地	奈良	32059	花見月北窯跡群	窯跡	平安	32090	川田B遺跡	散布地	古墳	
32036	春木1~3号窯跡	窯跡	奈良・平安	32060	花見月G~K窯跡、花見月窯跡	窯跡	平安	32091	川田ソウ山古墳群	古墳	古墳	
32037	春木4号窯跡	窯跡	奈良・平安	32061	花見月N遺跡	散布地	平安	32092	川田向山A古墳群	古墳	古墳	
32038	春木5号窯跡(春木D地点)	窯跡	奈良	32063	花見月O遺跡	散布地	縄文・平安	32093	川田向山B古墳群	古墳	古墳	
32039	春木7・8号窯跡	窯跡	奈良	32064	瀬戸大門山遺跡	群跡	群跡	平安	32094	川田向山C古墳群	古墳	古墳
32040	三石B遺跡	散布地	不詳	32070	瀬戸1~11号群	窯跡	奈良・平安	32095	川田向山D古墳群	古墳	古墳	
32041	春木C遺跡	散布地	奈良・平安	32072	瀬戸E窯跡群	窯跡	奈良・平安	32096	川田古賀窯跡	窯跡	不詳	
32042	春木F遺跡	散布地	不詳	32073	瀬戸A遺跡	散布地	奈良・平安	32097	川田A遺跡	散布地	古墳~平安	
32043	春木G遺跡	散布地	不詳	32074	瀬戸B遺跡	散布地	奈良・平安	32098	川田中世段原出土地	散布地	中世	
32044	春木H遺跡	散布地	不詳	32075	瀬戸C遺跡	散布地	奈良・平安	32099	川田遺跡	散布地	奈良・平安	
32045	春木壺谷A窯跡群	窯跡	奈良	32076	瀬戸D遺跡	散布地	奈良・平安	32100	川田七ツ宮古墳群	古墳	古墳	
32046	春木壺谷C窯跡群	窯跡	奈良	32077	若狭見遺跡	散布地	縄文					

第3章 春木A・B遺跡

第1節 調査の概要

春木A・B遺跡は、昭和60年度と62年度の2カ年に分けて約4ヶ月間調査を行った。

60年度調査は、低丘陵上の標高27m前後の頂部にマウンドを持つ、通称マルヤマを中心とした調査区と路線軸に沿って伸びる平坦面及び斜面を主とした調査区から成る。

平坦面からは土坑状の落ち込み2箇所、溝1条、数個の小穴を検出した。斜面からの遺構の検出は無く、また、遺物の出土も無く詳細は不明と言わざるを得ない。

マルヤマのマウンドは、調査者によって春木1号塚と称され調査が行われ、長径約6mの楕円形のマウンドと南東側に幅約70cm、深さ約15cmの溝がめぐり、盛土は厚い箇所で約70cm、薄い所で20cmを測り、溝底からの見かけの高さは150cm前後である。また、盛土内や小穴内から土師質小皿やIV期以降の珠洲焼の壺4点と甕1点（第19～21図1～5）が出土した。

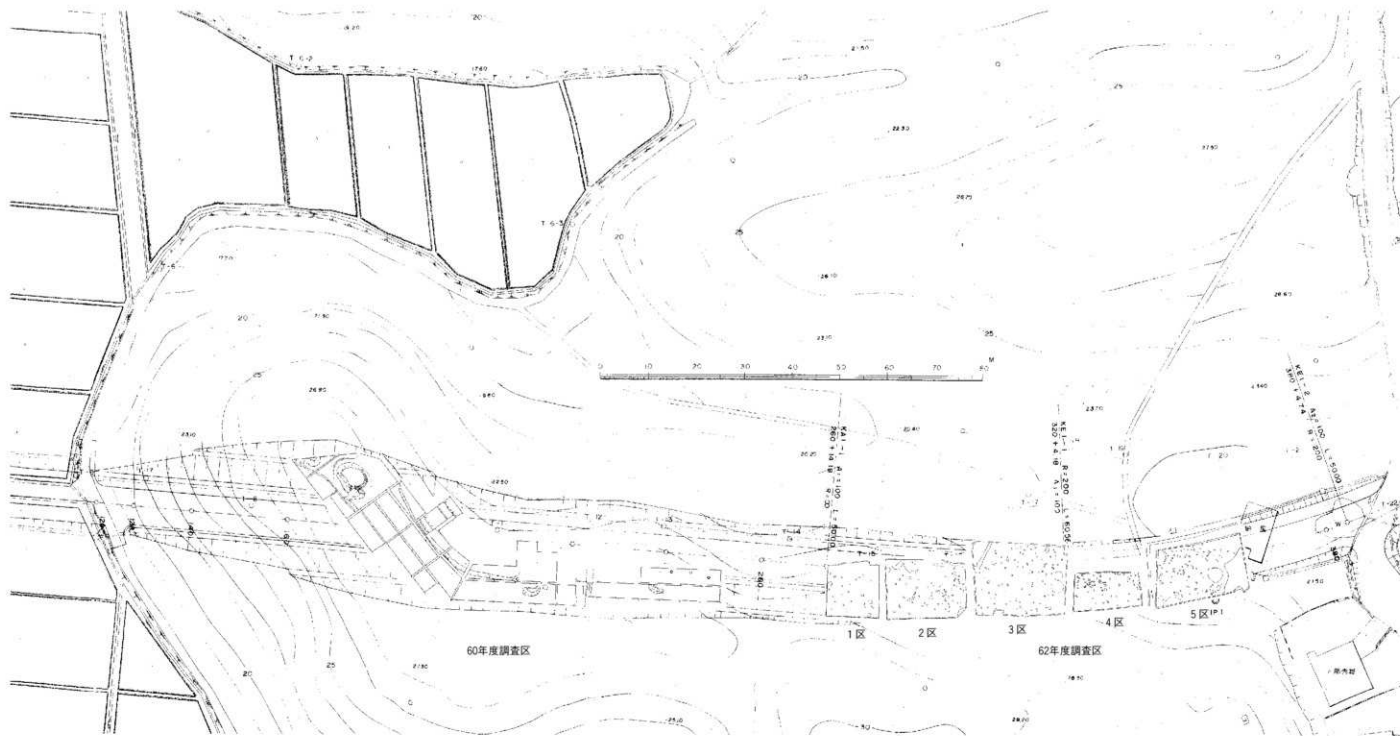
調査者は、「低丘陵上（調査区）に中世墳墓一基を確認したほかは不明。ただ、須恵器、中世陶などの断片的な出土もあり、丘陵西側裾部（調査区外）では造成的な平坦部が認められるため、平安期以降の館跡等とこれに伴う墓地ということも考えられる」としている。

62年度の調査区は、平坦面から東へ緩やかに降る斜面に位置することから、1～5区に別けて重機による表土剥ぎを行ったところ、多数の不整形な小穴と倒木痕を検出した。不整形な小穴は底も二股三股に分かれたり、横に入り込んだりと不定形であり、ほとんどが木根の跡と考えられ、1ヶ月間で調査を終了した。また、遺物の出土もほとんど無かったが、TK209型式と考えられる須恵器の小片が数点と土師器小片数点が出土した。

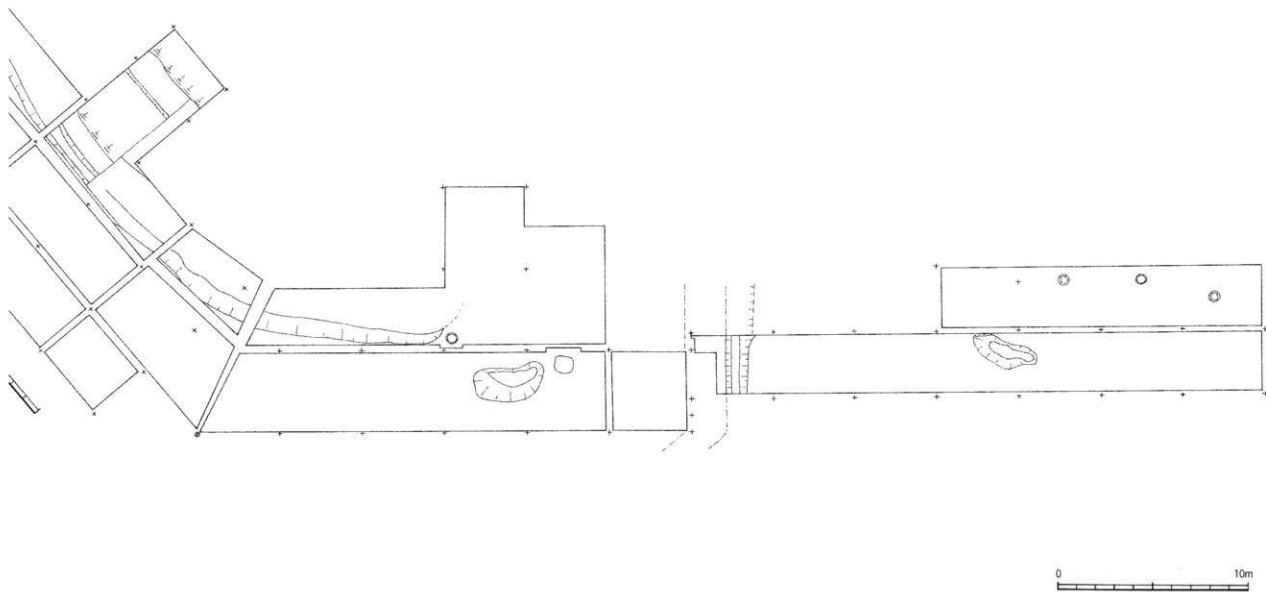
参考・引用文献

石川県立埋蔵文化財センター 1987 「石川県立埋蔵文化財センター年報 第7号」

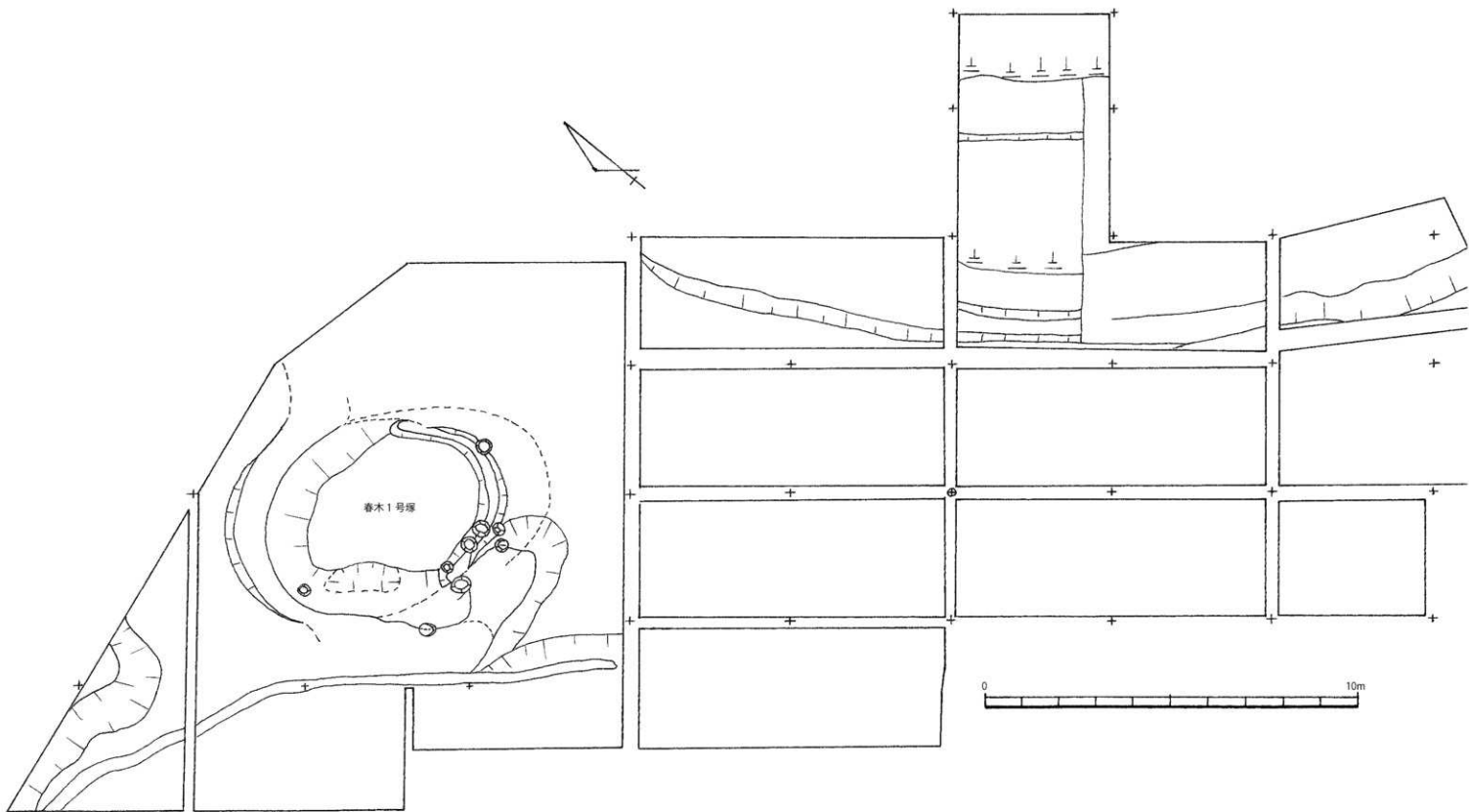
吉岡 康暢 1994 「中世須恵器の研究」

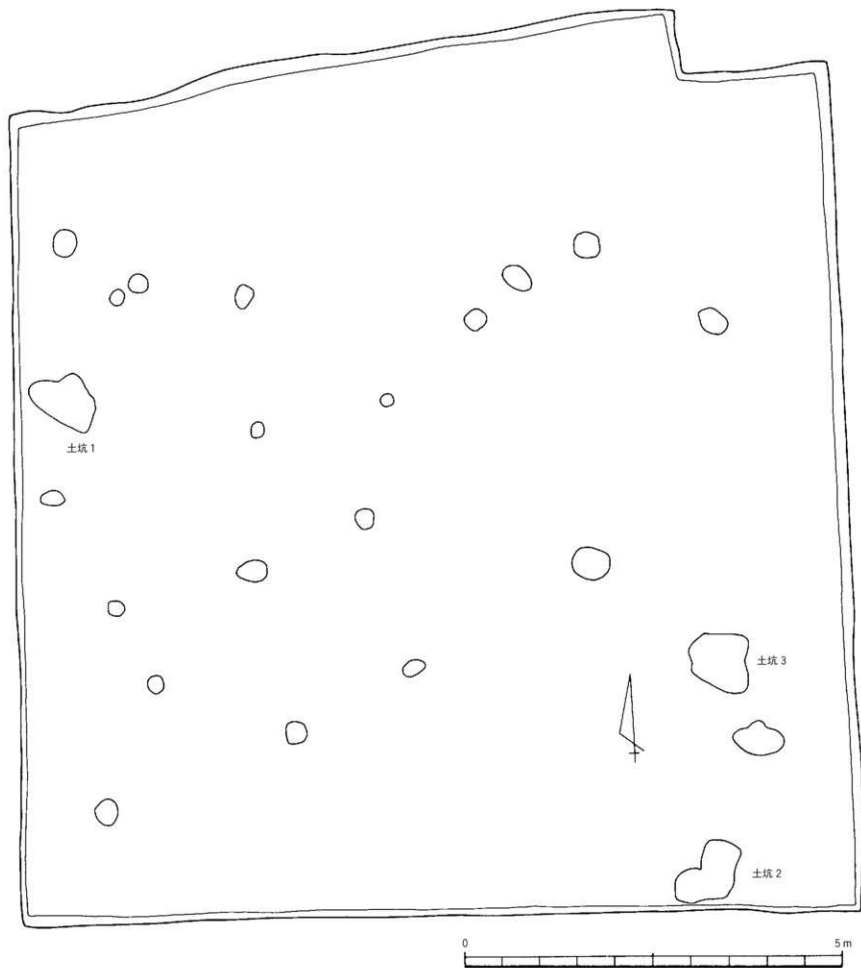


第3図 春木A・B道路調査区配置図 (S=1/800)



第4図 60年度調査区実測図 (S=1/200)





第5图 1区遺構分布図 (S=1/50)



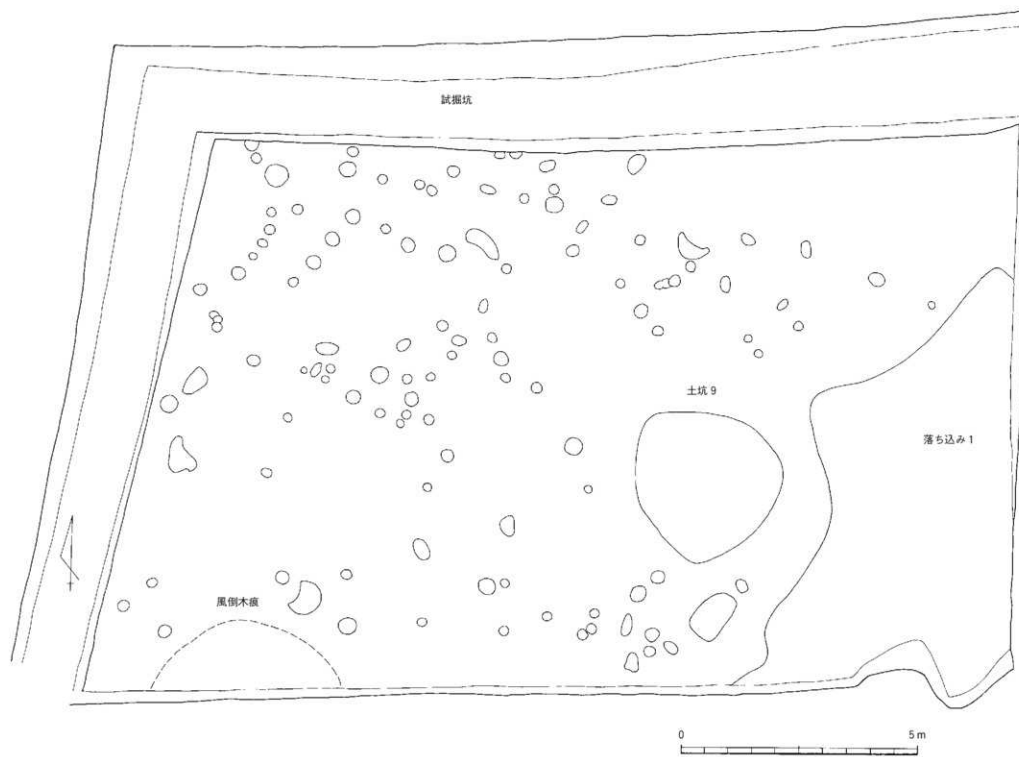
第6图 2区遺構分布图 (S=1/50)



第7图 3区遺構分布图 (S=1/80)



第8图 4区遺構分布図 (S=1/50)



第9図 5区遺構分布図 (S=1/80)

第4章 新庄遺跡

第1節 遺構の概要

A区

A区では両側に溝を伴う道状遺構と3間×3間以上の総柱掘立柱建物とそれに伴うと考えられる生垣跡と見なし得る帯状の小ピット群等を検出した。

掘立柱建物1

東西3間(約6m)×南北3間(約7.5m)以上と考えられるが、生垣の痕跡から見てこれ以上南に伸びることは無く、東に伸びて南北3間が梁行、東西が桁行と考えたい。また、梁間2本の柱穴に伴うように似た位置に柱穴があり、出入り口の痕跡かもしれない。その場合、切妻妻入の建物となろう。また、柱穴からの遺物の出土は無く、覆土は灰褐色砂質土であった。

生垣状痕跡

掘立柱建物1から南へ約1.5m離れて50cm前後の帯状に不定形な小ピット群を検出、底も不整形で、小さな木根痕のようであり、後で述べる道状遺構とも並行することから生垣の痕跡と考えた。

道状遺構

幅約1.5m、東西に伸びるもので北側に幅約90cmと約70cm、深さ30cm前後の2条の溝(溝と溝の間は畦状の高まりで分けられるが、かなり掘りすぎた)、南側に幅約60cm、深さ30cm前後の溝を伴うもので、溝の覆土は灰褐色砂質土であった。南側の溝から2条の浅い溝が分岐し、一周するようである。幅等から見て農道的なものと考えた。残念ながらB区では検出できなかった。

その他の遺構

その他、溝1条と溝状の落ち込み数条を検出したが、遺物の出土はほとんど無く、前述の遺構も含め覆土から見て全て中世以降の遺構と考えた。

B区

B区では南北に伸びる8条の溝、7基の土坑、柱穴多数、河道等を検出したが、建物を復元できなかった。また東側のA区寄りでは遺構は検出されず、西側で多く検出された。

土坑1

長径約70cmの楕円形呈し深さ約25cmを測り、底からやや浮いた状態で12世紀代の珠洲焼片口鉢(第29図73)が出土した。覆土は暗灰色シルトの単層であった。

土坑2

長径約100cmの楕円形を呈し深さ約40cmを測り、底を覆った黒褐色シルトから箸状木製品と13世紀前半の土師皿(第29図74～77)が出土した。また、覆土は上・中・下層に分層でき、上層は灰色砂質土、中層は黒褐色砂質土、下層は黒褐色シルトで、74の土師皿は底に張り付いて出土しており、人為的に埋められたものと考えた。

溝4

幅約150cm、深さ約40cmを測り南北に伸びる溝で、若干古い須恵器を含むが8世紀半ばの杯(第30図79～第32図133)を多量に含んでいた。覆土は基本的に上下2層で、上層は黒褐色粘質土、下層は黒褐色砂質土で一部に茶褐色砂質土が認められた。また、上層から底にかけて同一時期の須恵器が出土しており、人為的に埋められたものと考えた。

河道

最大幅26m、深さ約2.3mを測り、覆土は砂とシルトが主体で、流れのあった時期と淀んだ時期があったと考えられる。底は灰色の砂礫土で、上層と中層から古墳時代前期の土師器(第22図6～第29図72)が多量に出土した。この河道が埋まってから奈良時代以降の遺構が掘り込まれていた。

B区遺構実測図のうち、スミ塗りの柱穴は建物になる可能性のあるものである。

C区

C区では掘立柱建物2棟、南北に伸びる溝4条、入江状になった河道等を検出した。

掘立柱建物1

南北3間(約6m)以上×東西3間(約5m)以上で柱穴の掘方は大きく一辺40～60cmの整った方形を呈し、20cm前後の柱根の痕跡を確認できる。主軸の方位はほぼ磁北と合う。柱筋は比較的整っており、柱間寸法は西側柱列で1.8m前後、南側柱列で東より1.7m、1.5m、1.5mを測る。柱穴からは古墳時代前期の土師器を多く出土したが、古墳時代前期の溝を切り込んでいた為であり、奈良時代のものと考えている。

掘立柱建物 2

梁間2間(約4m)×桁行3間(約6m)の総柱建物で、柱筋、柱間寸法は不揃いであるが、中世のものと考えた。

溝 1

幅40cm前後、深さ約10cmを測り、覆土は灰褐色砂質土で、熱を受け赤く変色した8世紀後半の須恵器有台杯(第47図324)が出土した。

溝 2

最大幅120cm、深さ約30cmを測り、覆土は灰褐色粘質土と灰褐色砂質土を主体とする。底からやや浮いた状態で、弥生時代終末期の土器(第36図168～第37図190)が出土した。

溝 4

幅3m以上、深さ約60cmを測り、上層では土器片の集中する箇所(土器タマリと呼称)があった。中層では遺物は少ししか出土せず、下層では全く出土しなかった。土器タマリの遺物が第38図191～第39図210、それ以外の溝4出土遺物は第39図211～第46図302とともに古墳時代前期のものである。

河道

河道南側では地山が張り出し南北に流れる水を妨げており、それは調査区外へと続くように入江状を成す。一部引き込み状の溝と落ち込みを確認し、かなり人の手が加えられていると感じられた。C区の半分近くを占めており、幅は15m以上、深さは90cm前後と浅く広い。覆土はシルトが主体を占めあまり流れが無かったことを示していると考えられる。底は灰白色砂礫土で、シルトと砂礫土の間から平安時代後期～中世初頭の遺物(第48図329～第49図354)が出土した。

C区遺構実測図のうち、スミ塗りの柱穴は建物になる可能性のあるものである。

第2節 出土遺物

石器

打製石斧（第50図1～5）

1はB区北隅包含層出土で、胴中央部を欠くが、最大長17.1cm、最大幅6.6cm、最大厚2.2cmに復元でき、両面と側面に自然面を持つ安山岩製である。2はB区D-7包含層出土で、最大長18.9cm、最大幅7.4cm、最大厚4.3cm、重量572.7gを測り、安山岩製で両面に自然面を持つものである。3はB区C-9包含層出土で、頭部を欠く、安山岩製。4も安山岩製で、B区B-9包含層出土、頭部が刃部かは定かでないが刃部として掲載した。5はB区北隅包含層出土で、最大長7.7cm、最大幅4cm、最大厚1.85cm、重量78.2gとかなり小型であるが、他と同じ安山岩製であることから打製石斧と考えた。

敲石（第50図6）

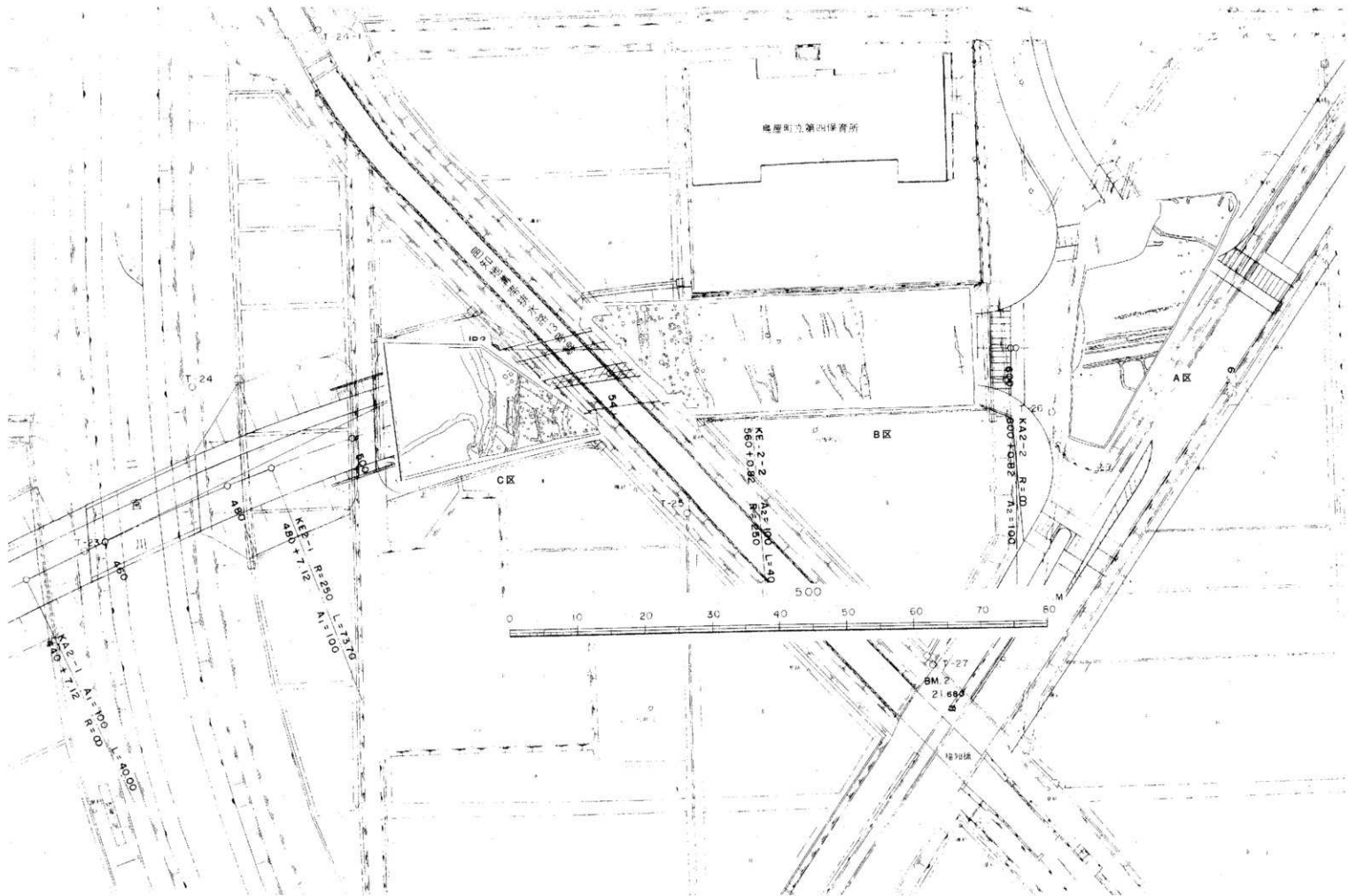
6はB区北隅包含層出土で、最大長9.6cm、最大幅7cm、最大厚5.1cm、重量482.4gを測り、側面のほぼ全周に敲打痕が認められる。また、一部に磨り面も認められ磨石としても使用されていたもので、石種は石英粗面岩である。

削器（第50図7）

7は最大長3.8cm、最大幅4.15cm、最大厚1.1cm、重量14.6gを測り、主剥離面側から角度の高い細部調整を施し刃部を作り出したものである。石種はチャートでB区B-9河道内出土である。

剥片（第50図8～10）

8はC区包含層出土で、最大長2.5cm、最大幅3.55cm、最大厚1.8cm、重量18.3gを測り、石核状の剥片である。石種はチャートである。9はB区溝4出土で、最大長2.65cm、最大幅3.55cm、最大厚0.6cm、重量6.5gを測り、表面はかなり風化しており、石種はガラス質安山岩である。10はC区包含層出土で、最大長3.95cm、最大幅1.85cm、最大厚0.55cm、重量4gを測り縦長状の剥片であり、石種はチャートである。



第10図 新庄遺跡調査区配置図 (S=1/500)



第11図 A区遺構表測図 (S=1/100)

管玉未製品（第50図11～12）

11はB区B-9包含層出土で、最大長2.5cm、最大幅3.85cm、最大厚1.3cm、重量11.2gを測る珪化質緑色凝灰岩の剥片である。12はC区包含層出土で、最大長1.95cm、最大幅1.85cm、最大厚1.35cm、重量4.3gを測る珪化質緑色凝灰岩の剥片である。13はC区河道内出土で、最大長3cm、最大幅1.15cm、最大厚1.05cmを測る珪化質緑色凝灰岩の柱状剥片である。

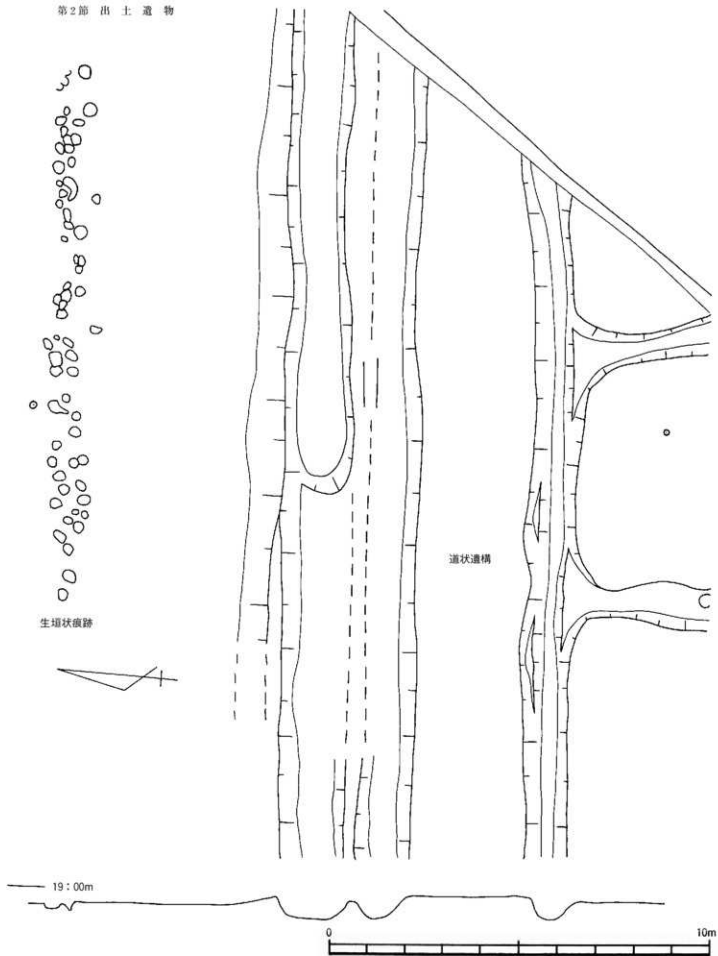
石 硯（第50図14）

14はC区河道上面から出土した最大長12.8cmを測る硯で石種は不明。

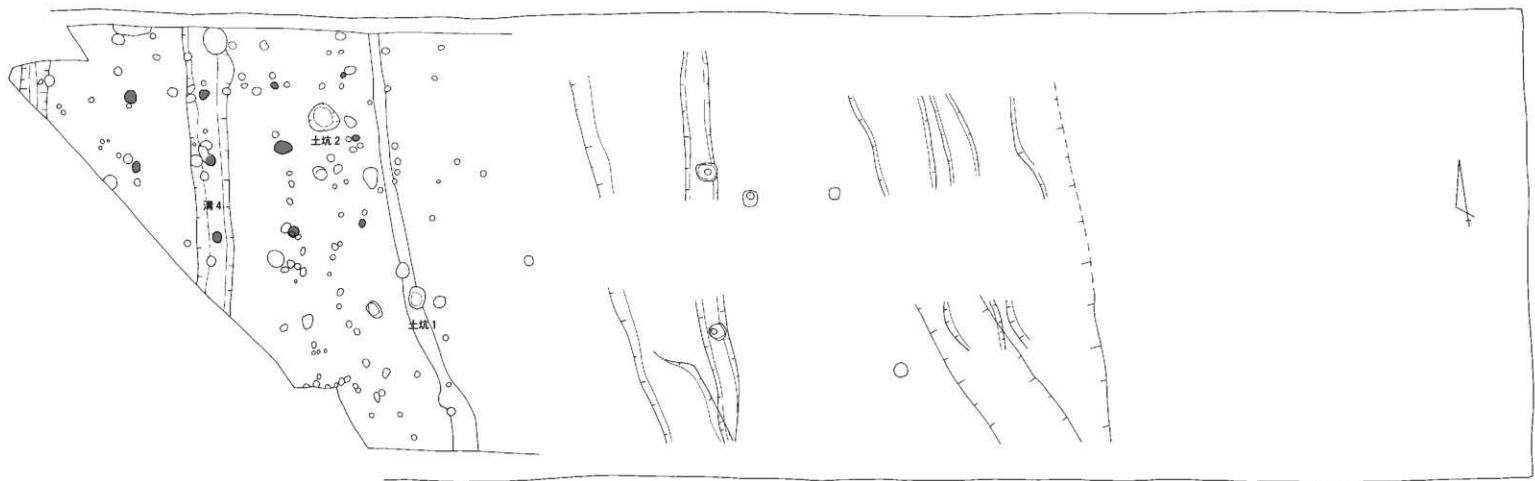
その他（第50図15）

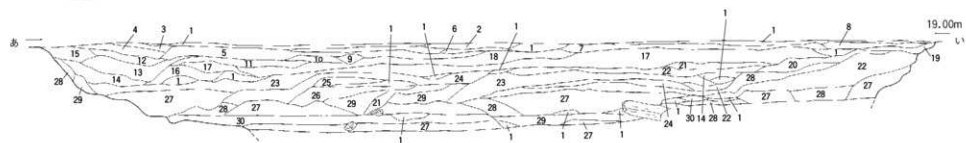
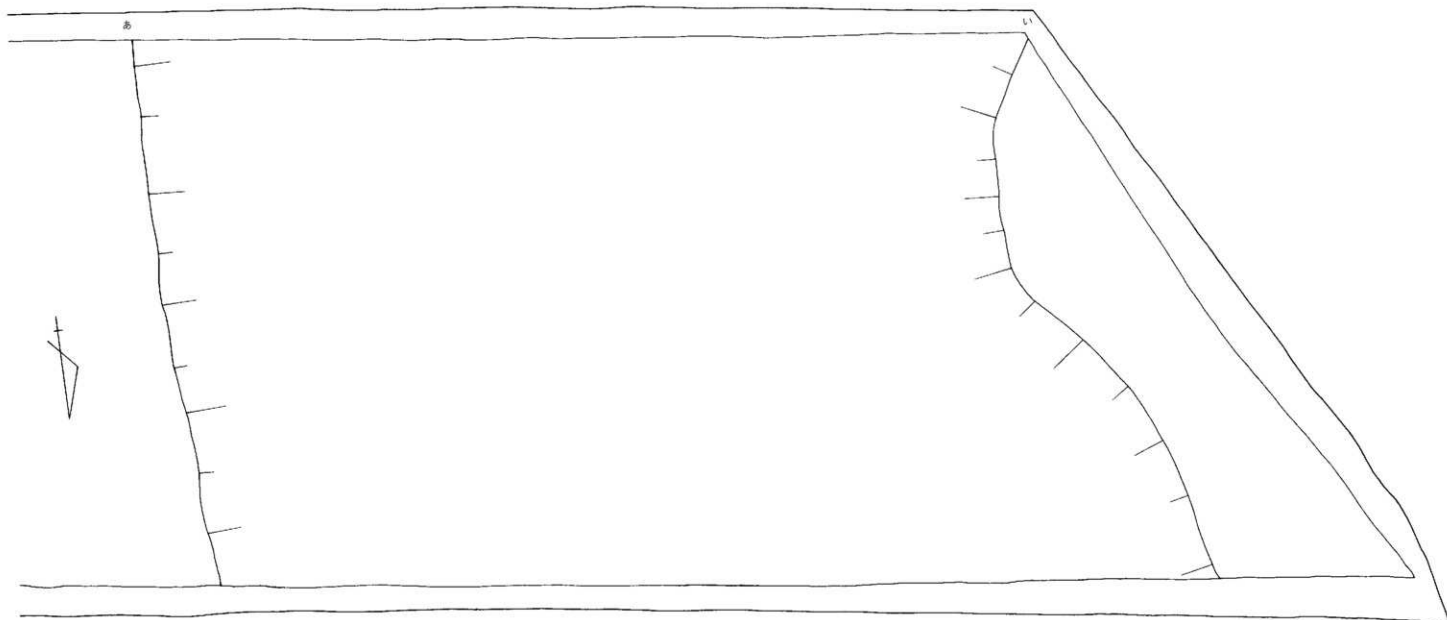
15はB区B-8包含層出土で、直径4.5cm、最大厚2.1cmを測る石製腕飾類の刳貫円盤で石種は緑色凝灰岩である。

管玉未製品は弥生時代終末期、刳貫円盤は古墳時代前期、硯は中世と時代的には結びつくが、打製石斧や削器、敲石は縄文時代のもと考えられ、結びつかない。この調査地区では一片の縄文土器も出土していないが、石器から見ると極近辺に縄文時代の遺跡が在ったか、在ると考えなければいけないようである。



第12図 A区生垣・道状遺構実測図 (S=1/50)

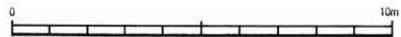
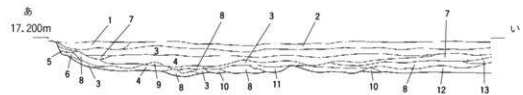


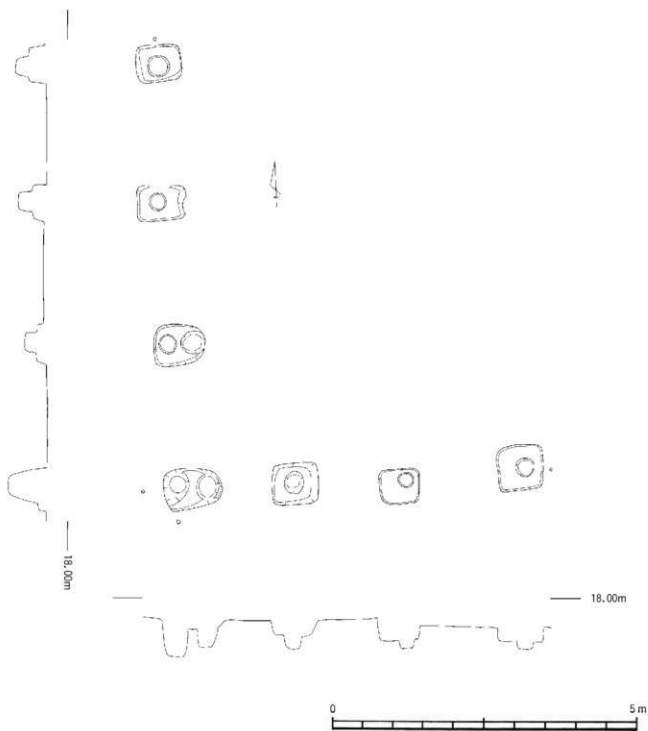


1. 灰色砂 2. 暗茶褐色砂土 3. 褐色粘質土 4. 黒褐色粘質土 5. 暗茶褐色シルト 6. 黄褐色シルト
 7. 淡灰褐色粘質土 8. 暗茶褐色粘質土 9. 淡黄褐色シルト 10. 淡褐色シルト 11. 淡褐色砂土
 12. 灰褐色シルト 13. 灰色砂 14. 灰色粗砂 15. 淡灰褐色シルト 16. 暗青灰色シルト 17. 黄灰色砂質土
 18. 淡黄灰色シルト 19. 暗褐色粘質土 20. 淡黄灰色砂土 21. 灰色粘質土 22. 暗灰色粘質土
 23. 暗灰色シルト 24. 暗灰色シルト(砂混じり) 25. 淡灰色シルト 26. 淡灰色砂 27. 灰色砂礫土
 28. 灰色シルト 29. 灰色シルト~砂 30. 灰色粘質土

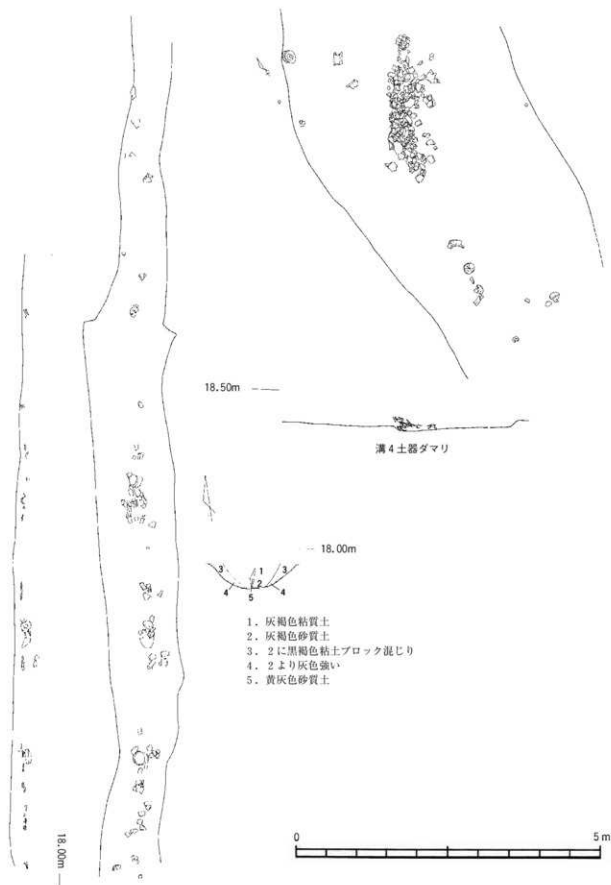


1. 黒褐色シルト 2. 黄色砂と灰色粘土の混合層 3. 灰色シルト 4. 淡灰色シルト 5. オリーブ灰色シルト
 6. 明オリーブ灰色シルト 7. 灰色シルト (砂混じり) 8. 暗灰色シルト 9. 明灰色シルト 10. 灰色砂
 11. 暗灰色シルト (砂混じり) 12. 灰色砂礫層 13. 黄色砂と灰色シルトの混合層

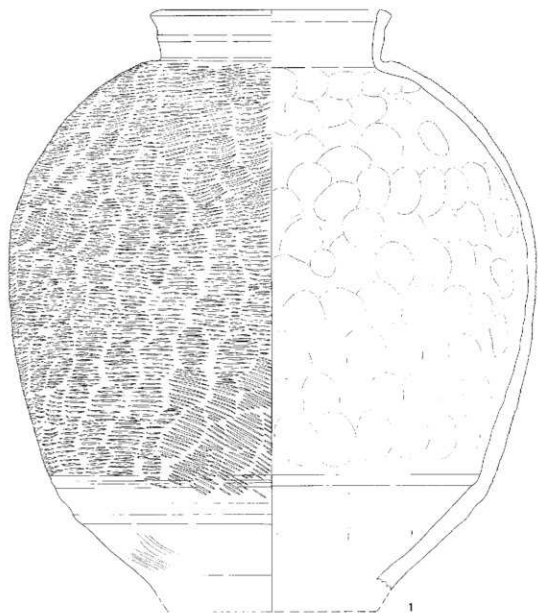




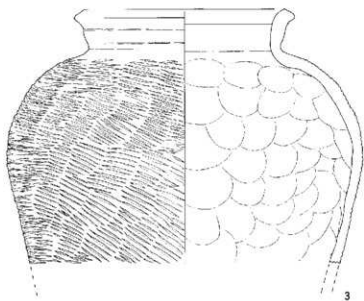
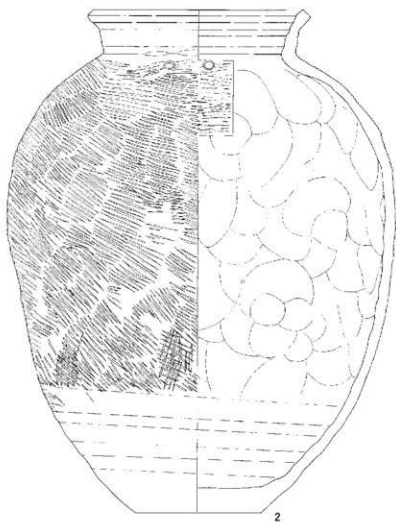
第17図 C区掘立柱建物1実測図 (S=1/50)



第18図 C区溝2・溝4実測図 (S=1/50)

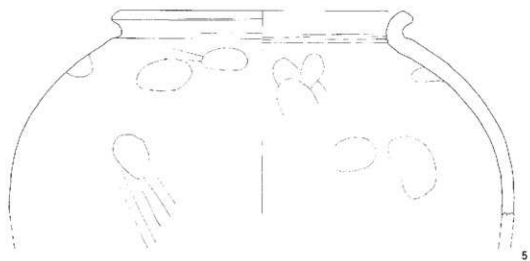
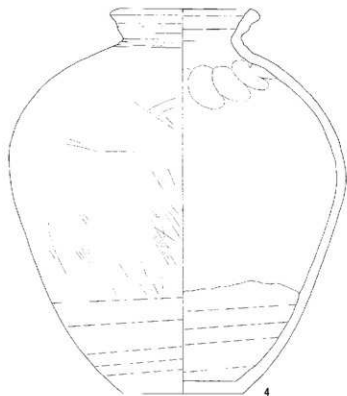


第19図 出土土器 (S=1/3)

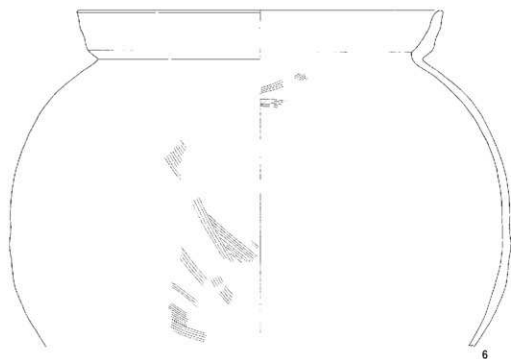


第20図 出土土器 (S=1/3)

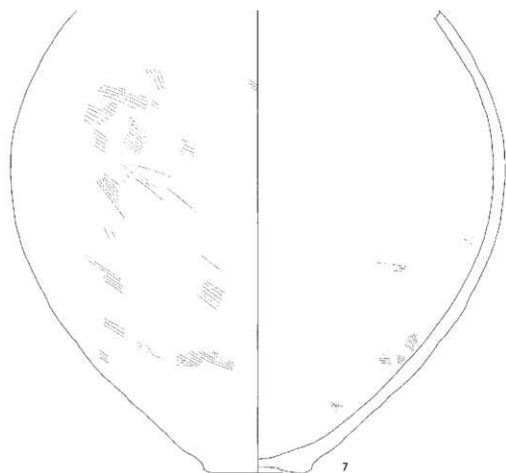




第21図 出土土器 (S=1/3)



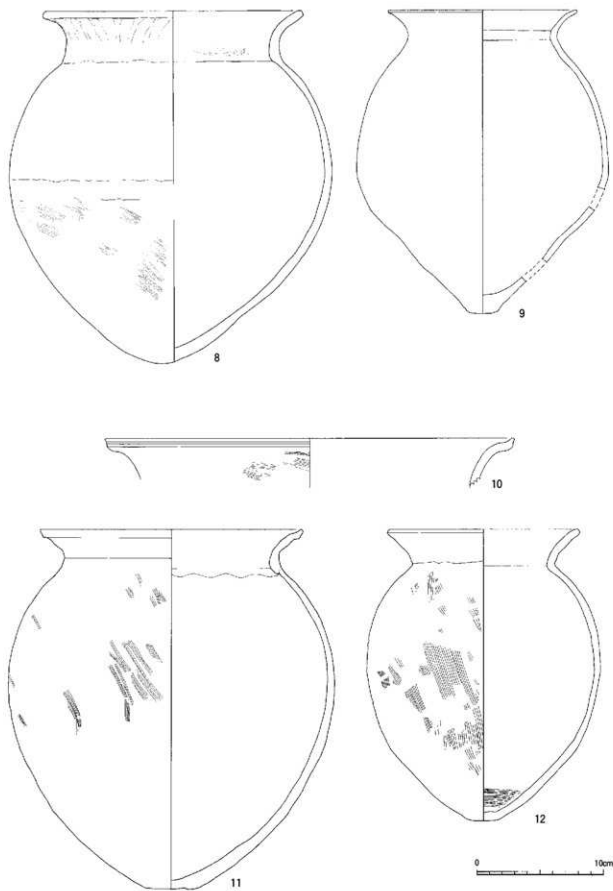
6



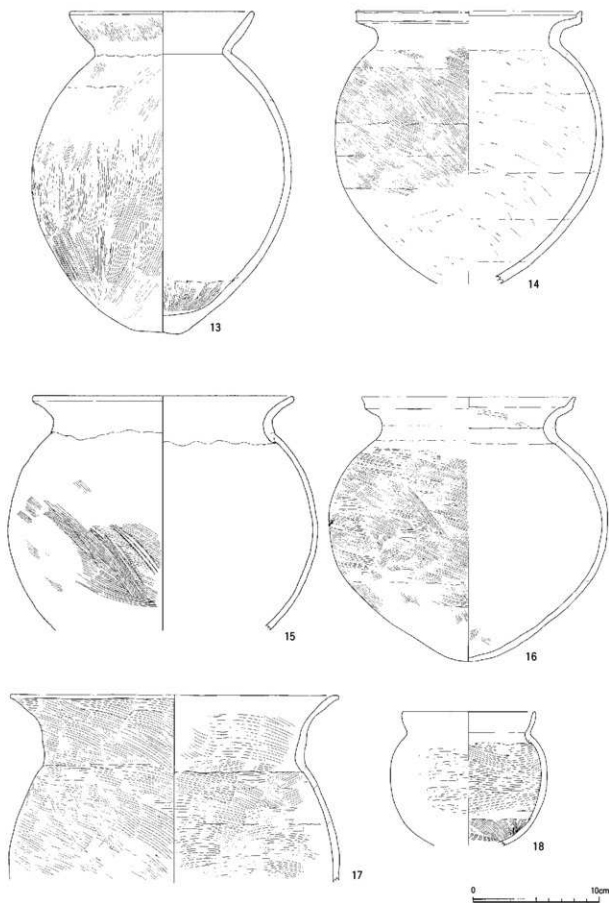
7



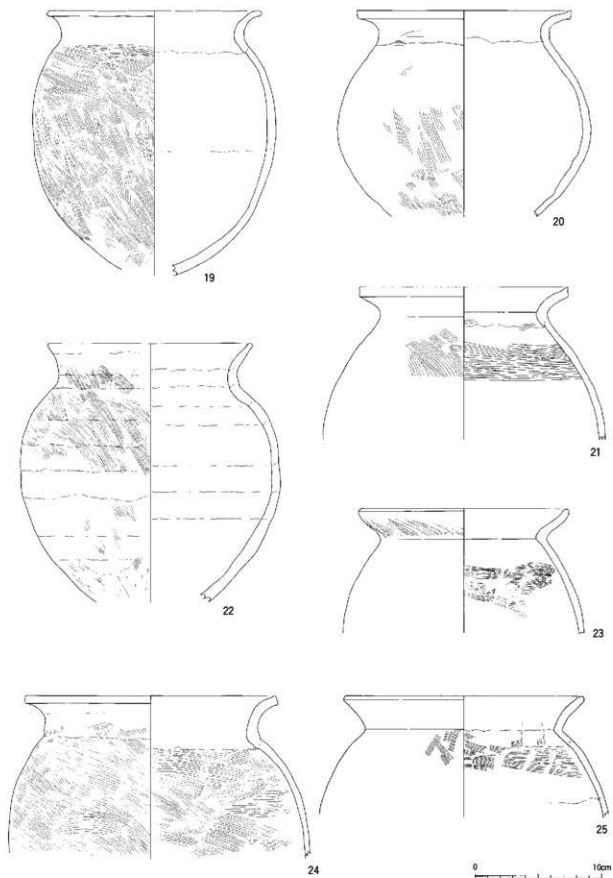
第22圖 出土土器 (S=1/3)



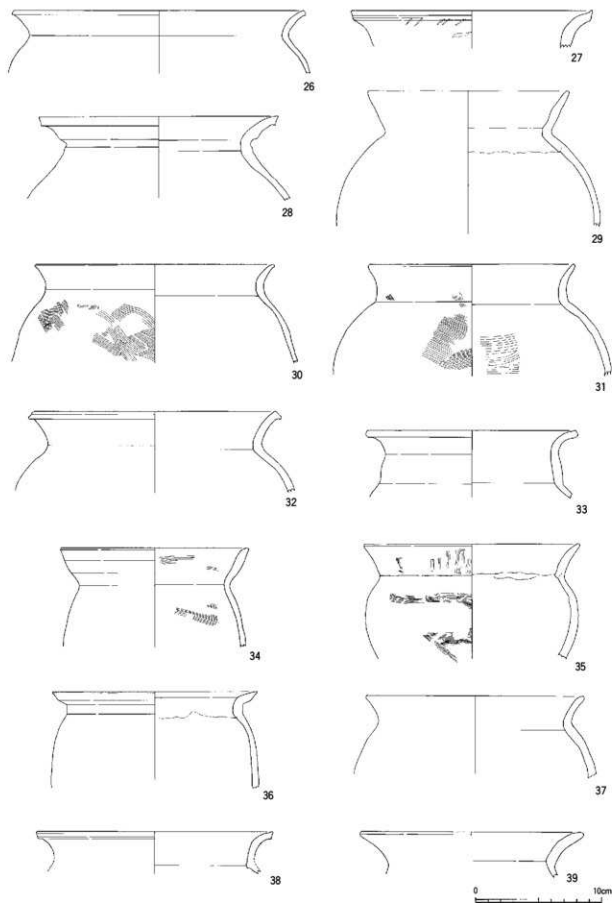
第23図 出土土器 (S=1/3)



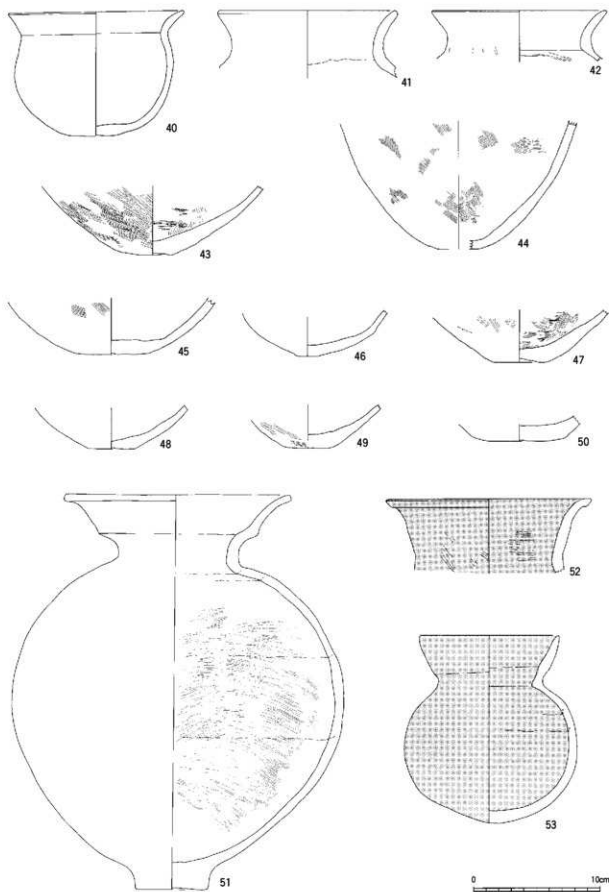
第24回 出土土器 (S=1/3)



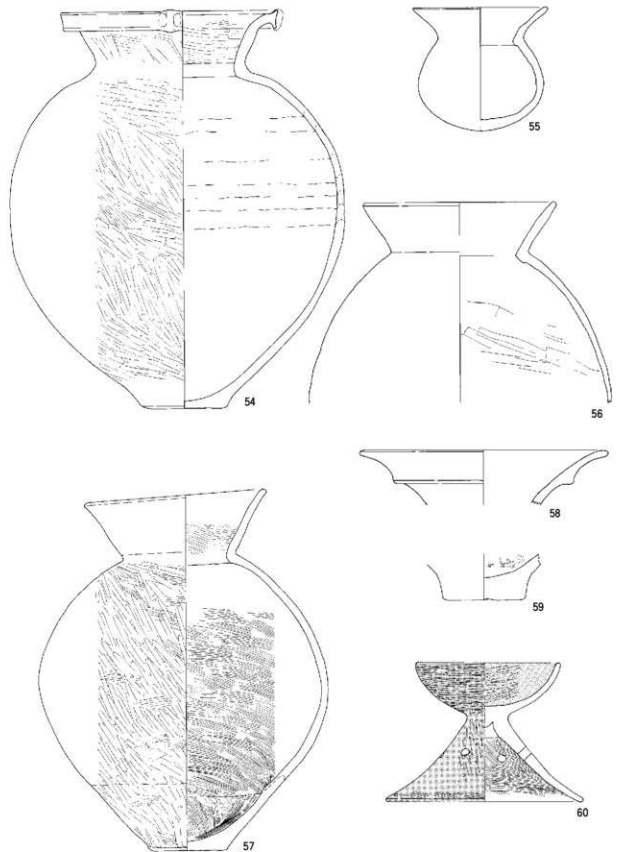
第25図 出土土器 (S=1/3)



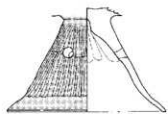
第26圖 出土土器 (S=1/3)



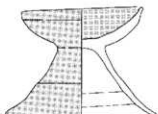
第27図 出土土器 (S=1/3)



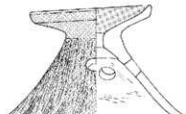
第28圖 出土土器 (S=1/3)



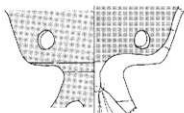
61



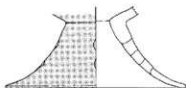
62



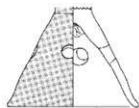
63



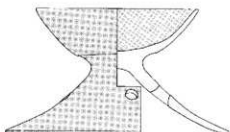
64



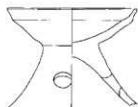
65



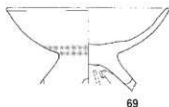
66



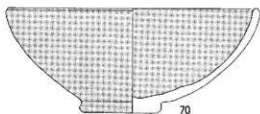
67



68



69



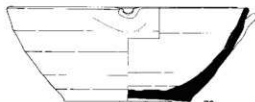
70



71



72



73



74



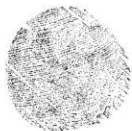
75



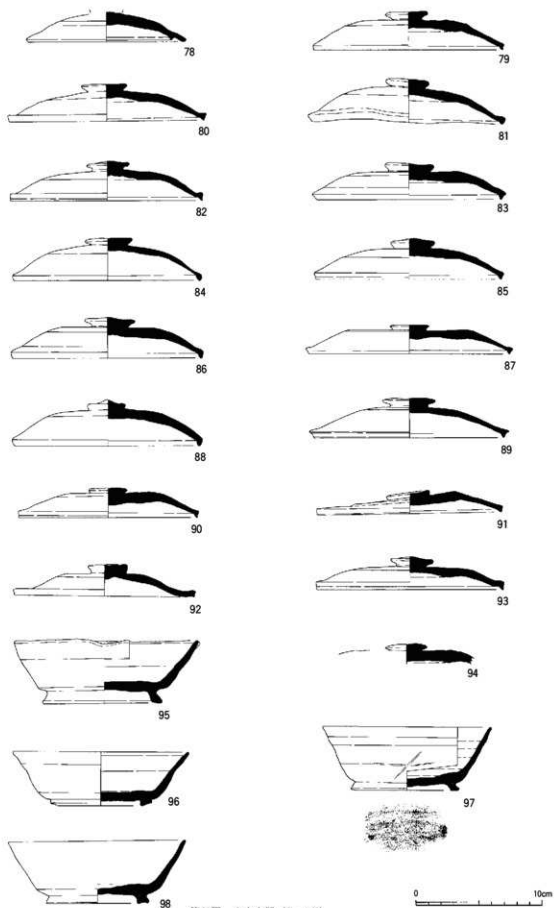
76



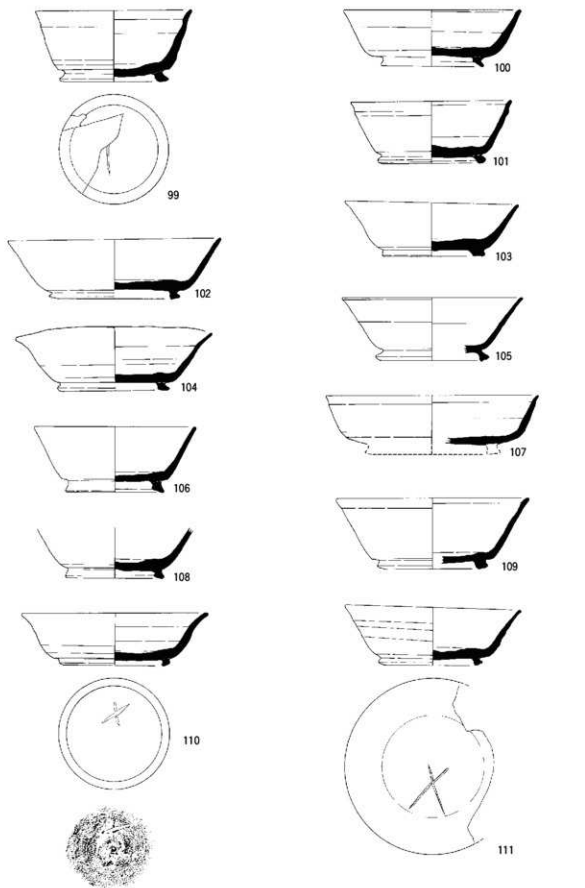
77



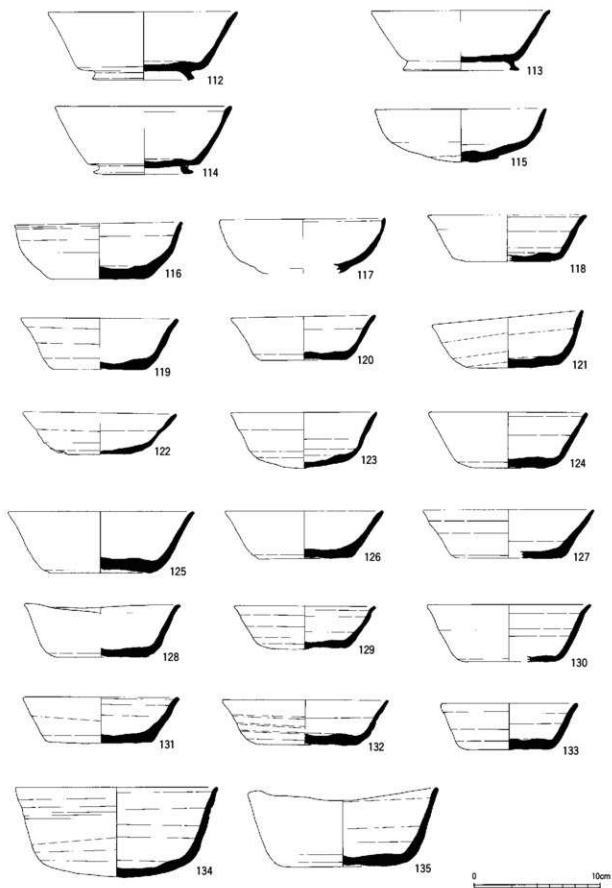
第29回 出土土器 (S=1/3)



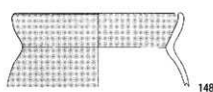
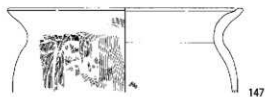
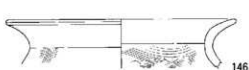
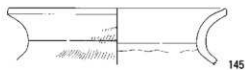
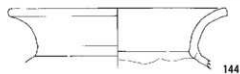
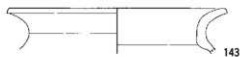
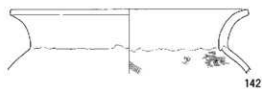
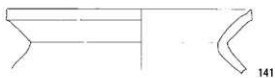
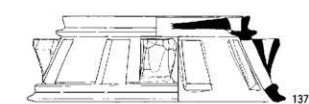
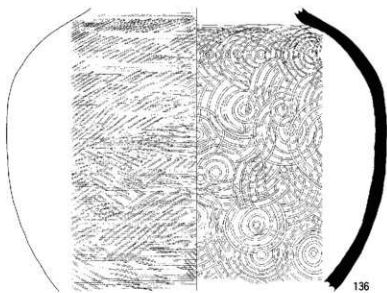
第30圖 出土土器 (S=1/3)



第31圖 出土土器 (S=1/3)

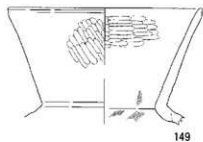


第32圖 出土土器 (S=1/3)

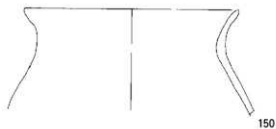


第33図 出土土器 (S=1/3)

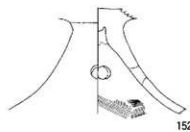
0 10cm



149



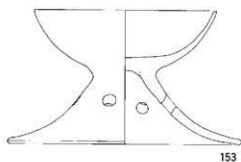
150



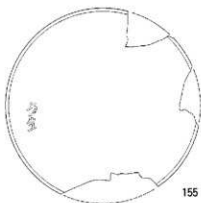
152



151



153



155



154



156



157



159



158



160



161



162



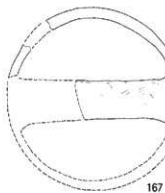
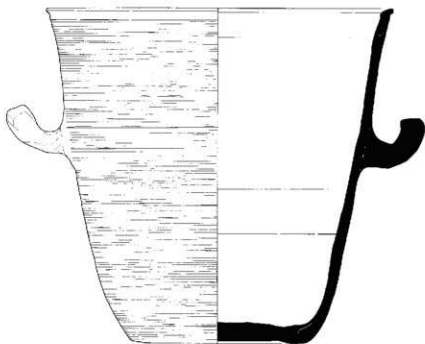
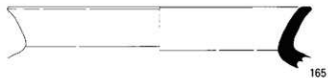
164



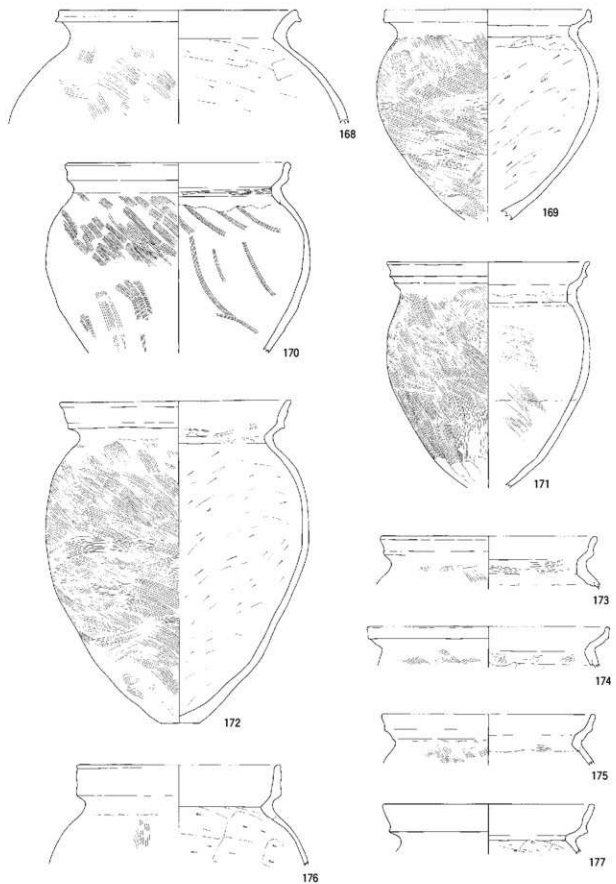
163

第34回 出土土器 (S=1/3)

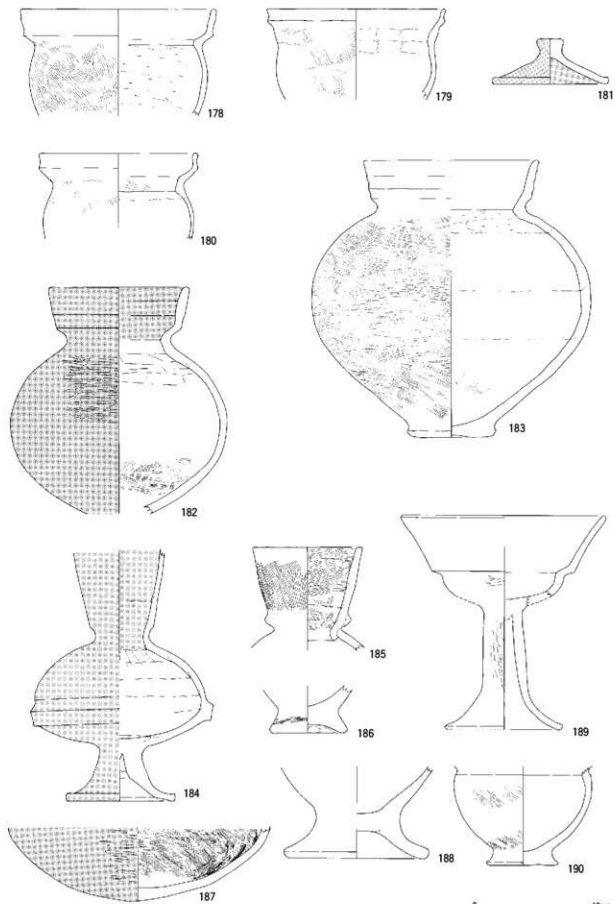
0 10cm



第35図 出土土器 (S=1/3)

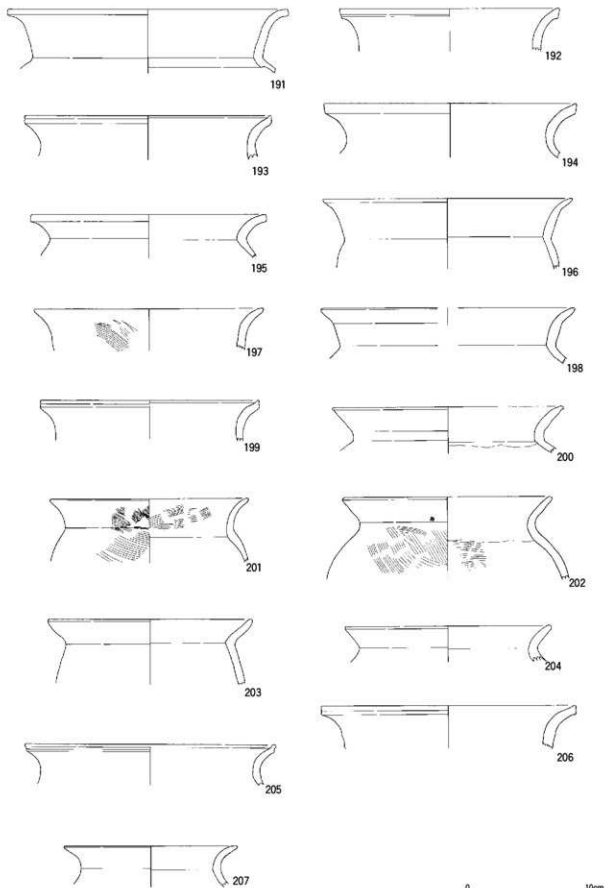


第36圖 出土土器 (S=1/3)

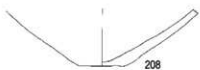


第37回 出土土器 (S=1/3)

0 10cm



第38圖 出土土器 (S=1/3)



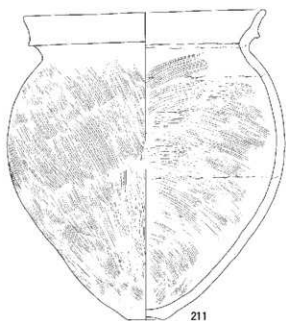
208



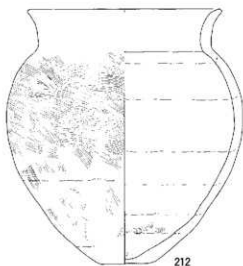
209



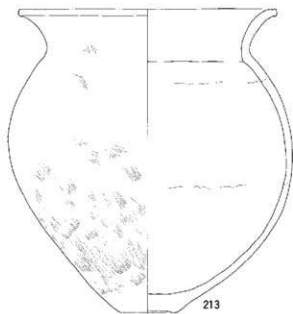
210



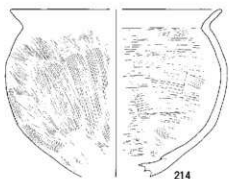
211



212



213



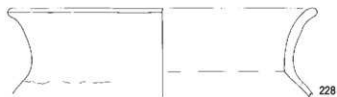
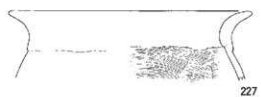
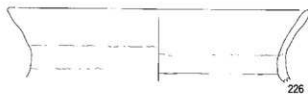
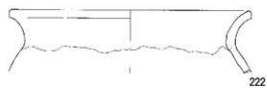
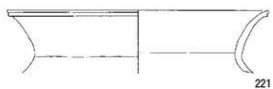
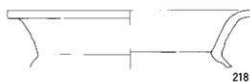
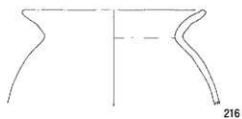
214



215



第39図 出土土器 (S=1/3)



第40回 出土土器 (S=1/3)

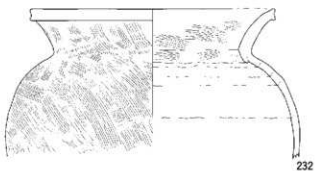
0 10cm



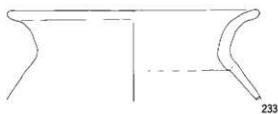
230



231



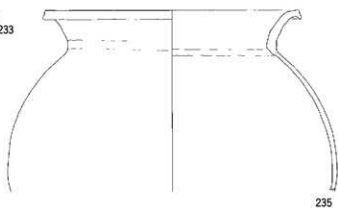
232



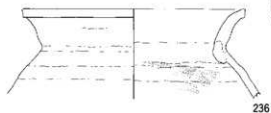
233



234



235



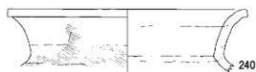
236



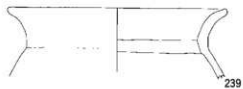
237



238



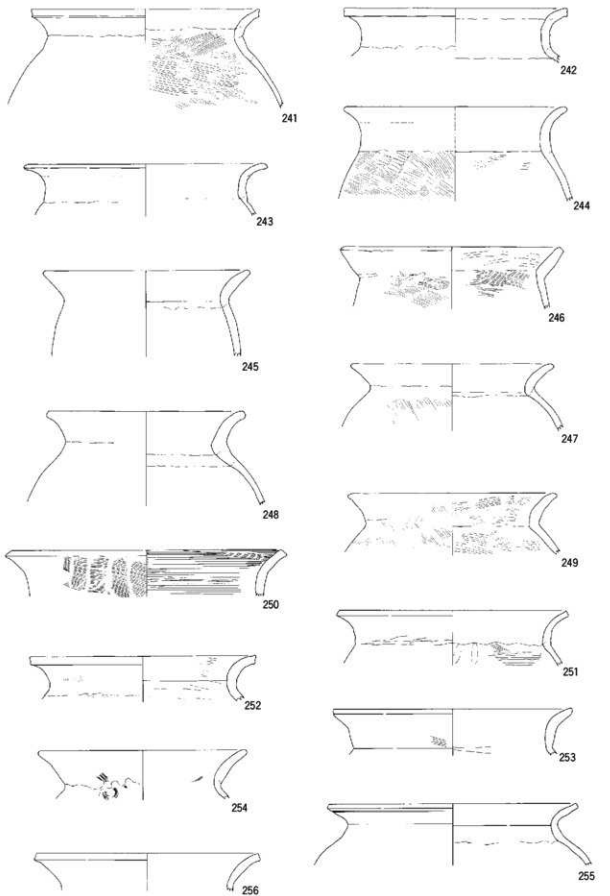
240



239

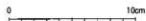
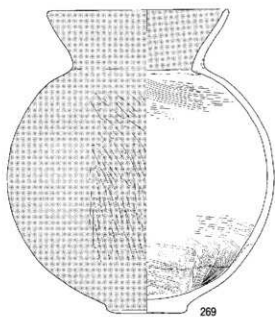
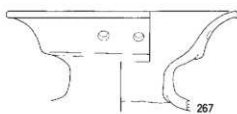
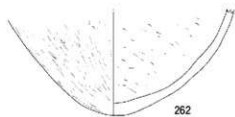
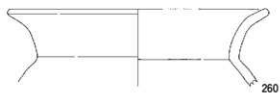
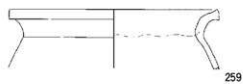
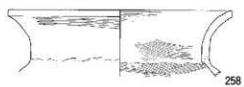
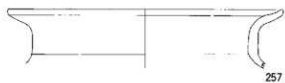
第41図 出土土器 (S=1/3)



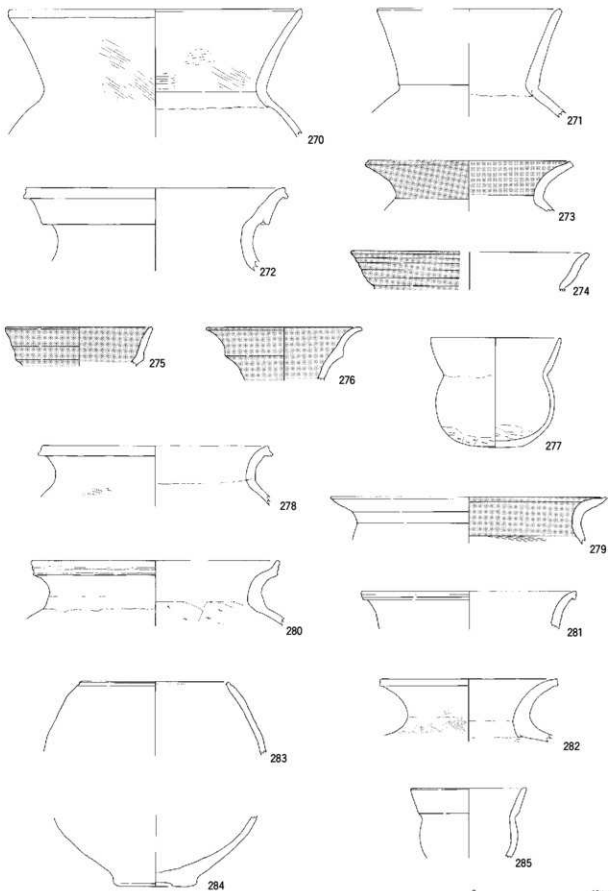


第42圖 出土土器 (S=1/3)

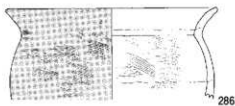
0 10cm



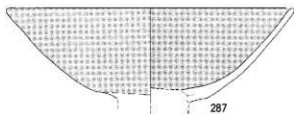
第43図 出土土器 (S=1/3)



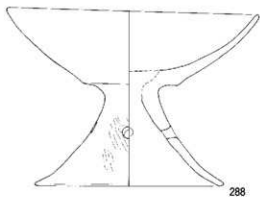
第44回 出土土器 (S=1/3)



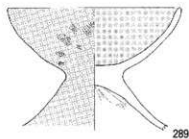
286



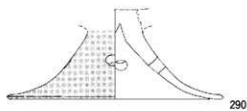
287



288



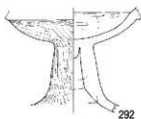
289



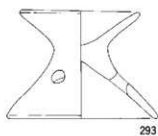
290



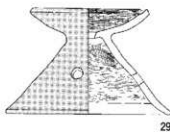
291



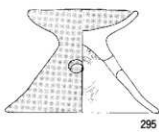
292



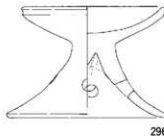
293



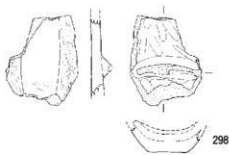
294



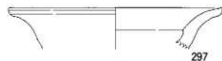
295



296



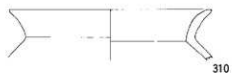
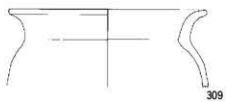
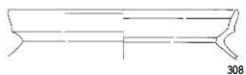
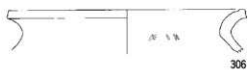
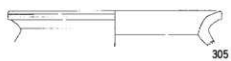
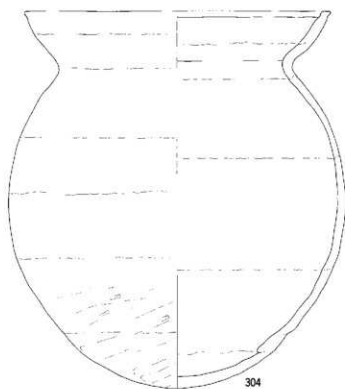
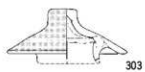
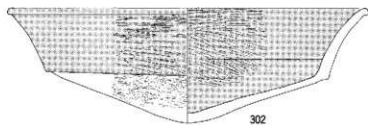
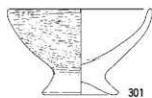
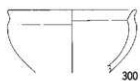
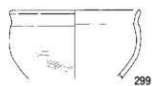
298



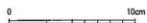
297

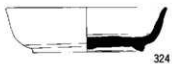
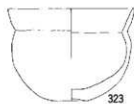
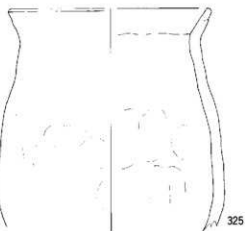
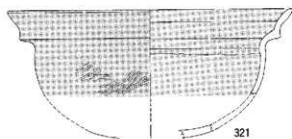
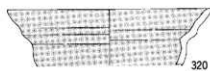
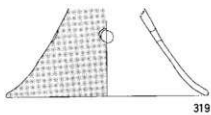
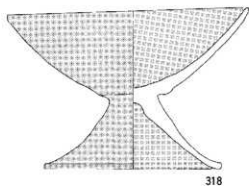
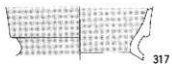
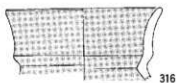
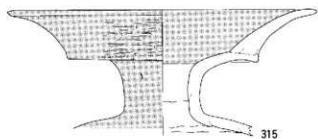
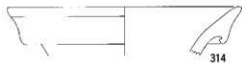
第45図 出土土器 (S=1/3)

0 10cm



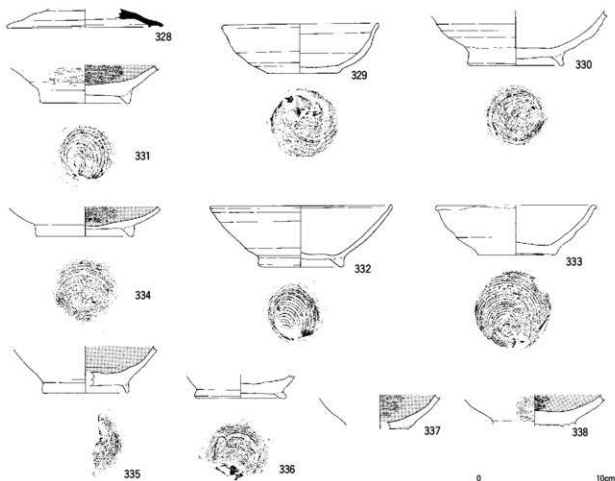
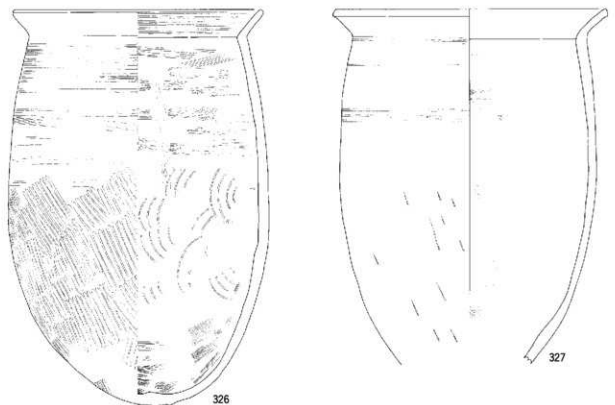
第46圖 出土土器 (S=1/3)



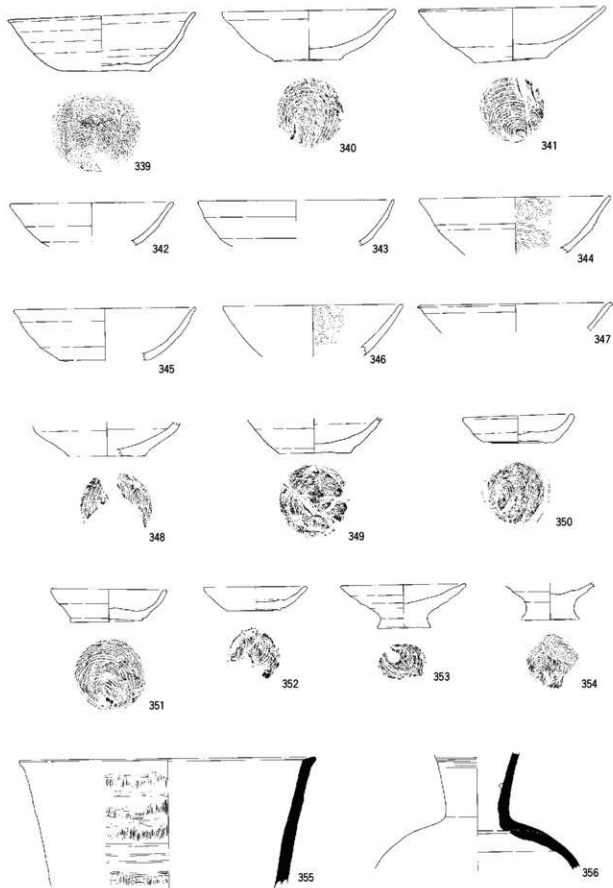


第47図 出土土器 (S=1/3)



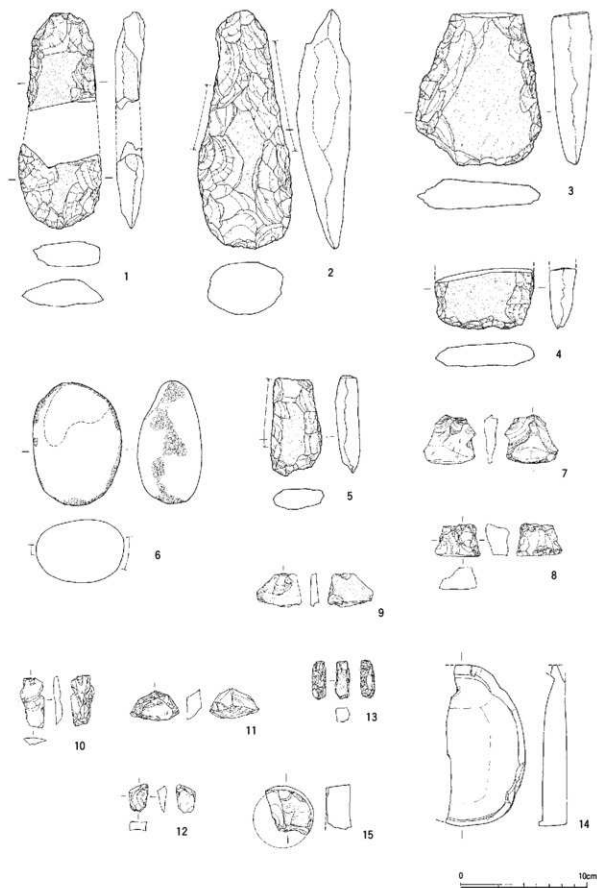


第48圖 出土土器 (S=1/3)



第49回 出土土器 (S=1/3)

0 10cm



第50回 出土石器 (S=1/3)

第2表 出土土器観察表

検出番号	家測番号	出土地区	種別	器種	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	色調	胎土	焼成	調整	備考
6	92-15	B区C-7河溝	土師器	甕	28.8			内-淡黄橙、外-浅黄橙	石英、黒石、小石を中量含む	良	内-ヨコナデ、ハケ、外-ヨコナデ、ハケ	
7	92-16	B区C・D-8河溝	土師器	甕		8.6		内-灰白、外-淡黄	石英、黒石、小石を少量含む	良	内-ハケ、外-ハケ、ナデ	外面に赤彩痕
8	C-82	B区B-9河溝	土師器	甕	20.6		28.0	内-淡黄橙、外-浅黄橙	石英、黒石、黒雲母、小石を中量含む	良	内-ハケケ、ナデ、外-ハケ、ナデ	摩滅著しい
9	92-13	B区B-9河溝	土師器	甕	15.0	1.8	24.	内-黄橙、外-灰白	石粉をほとんど含まない	良		摩滅著しく調整不明
10	92-118	B区河溝	土師器	甕	32.6			内-淡黄、外-灰白	石英、黒石、小石を少量含む	良	内-ナデ、外-ハケ	
11	92-14	B区B-6河溝	土師器	甕	20.8	4.0	28.5	内-褐色、外-灰白	石英、黒雲母、小石を中量含む	良	内-ハケ、ヘラケスリ、外-ハケ、ナデ	
12	92-23	B区B-8河溝	土師器	甕	15.3	1.8	23.1	内-灰白、外-灰白	石英、小石を少量含む	良	内-ヘラケスリ、ナデ、外-ハケ、ナデ	
13	C-87	B区B-8河溝	土師器	甕	14.9	3.3	25.5	内-灰白、外-黄灰	石英、長石を少量含む	良	内-ヨコナデ、ヘラケスリ、外-ハケ	
14	C-97	B区B-8河溝	土師器	甕	18.0			内-淡黄、外-淡黄	石英、黒雲母、小石を中量含む	良	内-ヨコナデ、ヘラケスリ、外-ヨコナデ、ヘラケスリ、ハケ	
15	92-11	B区河溝	土師器	甕	20.6			内-淡黄橙、外-浅黄橙	石英、長石、黒雲母、小石を中量含む	良	内-ヘラケスリ、ナデ、外-ハケ	
16	C-99	B区B-8河溝	土師器	甕	17.0		21.0	内-鈍い黄橙、外-鈍い黄橙	石英、長石、黒雲母、滑石片を中量含む	良	内-ヨコナデ、ハケ、外-ヨコナデ、ハケ	
17	C-88	B区河溝	土師器	甕	26.0			内-鈍い黄橙、外-鈍い黄橙	石英、長石、黒雲母を中量含む	良	内-ハケ、外-ヘラケスリ、ハケ	
18	C-9	B区B-8河溝	土師器	鉢	10.4			内-鈍い赤橙、外-鈍い黄橙	石英、長石を中量含む	良	内-ハケ、外-ミカキ	
19	C-83	B区河溝	土師器	甕	16.8			内-鈍い橙、外-鈍い黄橙	石英、黒雲母を少量含む	良	内-ナデ、ヨコナデ、外-ナデ、ヨコナデ、ハケ	
20	92-130	B区B9-10河溝	土師器	甕	17.0			内-灰白、外-灰白	石英、黒石、小石を少量含む	良	内-ナデ、ヘラケスリ、外-ナデ、ヘラケスリ、ハケ	
21	92-73	B区B-9河溝	土師器	甕	16.6			内-灰白、外-灰白	石英、長石、小石を少量含む	良	内-ヨコナデ、ハケ、外-ヨコナデ、ハケ、ヘラケスリ	
22	C-85	B区河溝	土師器	甕	16.0			内-淡黄橙、外-浅黄橙、鈍い赤橙	石英、長石、黒雲母、小石を中量含む	良	内-ヨコナデ、ナデ、外-ヨコナデ、ハケ、ヘラケスリ	
23	92-112	B区B-9河溝	土師器	甕	14.5			内-灰白、外-灰白	石英、黒石、小石を中量含む	良	内-ヨコナデ、ハケ、外-ヨコナデ、ハケ	
24	C-98	B区河溝	土師器	甕	19.8			内-鈍い黄橙、外-淡黄、鈍い黄橙	石英、長石を多量含む	良	内-ヨコナデ、ハケ、外-ヨコナデ、ハケ	
25	92-111	B区C-5-6河溝	土師器	甕	18.9			内-灰白、外-灰白	石英、黒雲母、小石を中量含む	良	内-ハケ、外-ハケ	
26	92-116	B区C-5-6河溝	土師器	甕	23.0			内-灰白、外-鈍い黄橙	石英、長石を中量含む	良		摩滅著しく調整不明
27	92-74	B区河溝	土師器	甕	19.2			内-灰白、外-灰白	石英を少量含む	良	内-ナデ、外-ナデ	

28	92-29	B区河道	土師器	麩	19.0		内-灰白、外-鈍い黄體	胎ど石粒を含まない	良	内-不明、外-ヨコナナ子	摩滅著しく調整不明
29	C-96	B区河道	土師器	麩	15.8		内-淡黄、外-淡黄	石英、長石、黒雲母を少量含む	良	内-ヨコナナ子、ヘラケスリ、外-ヨコナナ子、ハケ	摩滅著しく調整不明
30	92-36	B区B-9河道	土師器	麩	18.8		内-淡黄、外-淡黄	石英、長石を少量含む	良	内-ハケ、外-ハケ	
31	92-34	B区B-9河道	土師器	麩	16.2		内-鈍い黄體、外-淡黄	石英、長石を少量含む	良	内-ヨコナナ子、ヘラケスリ、外-ヨコナナ子、ハケ	
32	92-30	B区C-8河道	土師器	麩	19.2		内-淡黄、外-淡黄	石英、長石を少量含む	良	内-ヨコナナ子、ヘラケスリ、外-ヨコナナ子、ハケ	摩滅著しく調整不明
33	92-37	B区B-9河道	土師器	麩	16.9		内-淡黄、外-淡黄	石英、長石、小石を少量含む	良	内-ハケ、外-不明	
34	92-117	B区D-5河道	土師器	麩	14.8		内-淡黄、外-黄體	石英、長石、小石を少量含む	良	内-不明、外-ハケ	
35	92-71	B区B-8河道	土師器	麩	17.3		内-鈍い黄體、外-鈍い黄體	石英、長石、小石を少量含む	良	内-ヨコナナ子、ナナ子、外-ヨコナナ子、ナナ子	摩滅著しく調整不明
36	92-72	B区B-8河道	土師器	麩	16.3		内-淡黄、外-淡黄	石英、長石、小石を少量含む	良		
37	92-31	B区C-7河道	土師器	麩	17.6		内-黄、外-黄	石英、長石、小石を少量含む	良		
38	92-113	B区C-6河道	土師器	麩	18.8		内-粗灰、外-粗灰	石英、長石を少量含む	良		
39	92-38	B区河道	土師器	麩	17.6		内-粗灰、外-粗灰	石英、長石を少量含む	良	内-ヨコナナ子、外-ヨコナナ子	摩滅著しく調整不明
40	92-10	B区C-8河道	土師器	鉢	13.7	10.0	内-灰白、外-灰白	石英、長石、小石を少量含む	良	内-ナナ子、外-ナナ子	
41	92-115	B区C-5河道	土師器	壺	14.0		内-淡黄、外-淡黄	石英、長石、小石を少量含む	良	内-ヨコナナ子、ヘラケスリ、外-ヨコナナ子	
42	92-35	B区B-8河道	土師器	壺	13.9		内-淡黄、外-淡黄	石英、長石、小石を少量含む	良	内-ヨコナナ子、ハケ、外-ヨコナナ子、ハケ	
43	92-24	B区B-9河道	土師器	壺	2.7		内-淡黄、外-淡黄	石英、長石、小石を少量含む	良	内-ハケ、ナナ子、外-ハケ	
44	92-67	B区B-9河道	土師器	壺	2.9		内-灰、外-灰白	石英、長石、小石を少量含む	良	内-ハケ、外-ハケ	
45	92-68	B区C-8河道	土師器	壺	4.0		内-灰、外-粗灰	石英、長石、小石を少量含む	良	内-ナナ子、ヘラケスリ、外-ハケ、ヘラケスリ	外面に蒸彩後
46	92-60	B区B-9河道	土師器	壺	1.8		内-鈍い黄體、外-淡黄	石英、長石、小石を少量含む	良	内-ナナ子、外-ナナ子、ヘラケスリ	
47	92-69	B区河道	土師器	壺	4.0		内-粗灰、外-灰黄	石英、長石、小石を少量含む	良	内-ハケ、外-ハケ、ヘラケスリ	
48	92-63	B区C-8河道	土師器	壺	3.8		内-鈍い黄、外-黄	石英、長石、小石を少量含む	良		摩滅著しく調整不明
49	92-62	B区B-9河道	土師器	壺	3.0		内-淡黄、外-淡黄	石英、長石、小石を少量含む	良	内-ナナ子、外-ナナ子、ハケ	
50	92-70	B区C-8河道	土師器	壺	4.4		内-灰白、外-灰白	石英、長石、小石を少量含む	良		摩滅著しく調整不明
51	C-95	B区B-9河道	土師器	壺	17.7	31.4	内-淡黄、外-淡黄	石英、長石、黒雲母、小石を少量含む	良	内-ハケ、外-ミガキナナ子、ハケ、外-ナナ子、ハケ	摩滅著しい
52	92-32	B区C-8河道	土師器	壺	16.4		内-淡黄、外-淡黄	石英、長石、小石を少量含む	良	内-ナナ子、ハケ、外-ナナ子、ハケ	内外面蒸彩
53	C-94	B区河道	土師器	壺	11.0	14.9	内-灰白、外-灰白	石英、長石、小石を少量含む	良	内-ミガキ、外-ミガキ	内外面蒸彩

54	C-84	B区C-4河遣	土師器	壺	17.1	6.7	31.7	内一黄灰、外一浅黄 橙	石莖、長石、小石を 中量含む	良	内一ヨコナデ、ハケ、 外一ヨコナデ、ハケ、 ミガキ	摩滅著しく調整不明
55	92-6	B区B-9河遣	土師器	壺	10.6	9.8	内一灰白、外一灰白	石莖、長石、小石を 少量含む	良	内一ナデ、外一ミガキ		
56	92-12	B区D-7河遣	土師器	壺	15.0	内一灰白、外一灰白	石莖、長石、小石を 少量含む	良	内一ヨコナデ、ナデ、 ハラケ、外一ナデ、 ミガキ			
57	C-86	B区河遣	土師器	壺	14.0	6.3	内一淡黄橙、灰白、外一 浅黄橙、黄灰	石莖、長石、小石を 中量含む	良	内一ヨコナデ、ハケ、外 一ヨコナデ、ミガキ		
58	92-114	B区B-5河遣	土師器	壺	19.8	内一灰白、外一灰白	石莖、長石、小石を 中量含む	良	内一ハケ、外一ナデ			
59	92-61	B区B-9河遣	土師器	壺	6.5	内一灰白、外一灰白	石莖、長石、小石を 少量含む	良	内一ハケ、外一ナデ			
60	C-90	B区河遣	土師器	高杯	11.2	15.7	内一灰白、淡黄、外一 灰白、淡黄	石莖、長石、黒雲母 少量含む	良	内一ハケ、ミガキ、外 一ミガキ	内外面赤彩	
61	92-22	B区河遣	土師器	器台	12.7	内一黄橙、外一暗赤 褐色	石莖、長石、黒雲母、 少量含む	良	内一ナデ、外一ミガキ	内外面赤彩		
62	92-7	B区B-7河遣	土師器	器台	9.6	12.6	内一淡黄、外一淡黄	石莖、長石、中量含む	良	内一不明、外一不明	摩滅著しく調整不明	
63	C-89	B区河遣	土師器	器台	9.5	14.4	内一鈍い黄橙、外一 鈍い黄橙	石莖、長石、小石を 少量含む	良	内二ハケ、ヨコナデ、 外一ハケ、ミガキ	内外面赤彩	
64	92-19	B区B-9河遣	土師器	器台	14.4	内一灰白、外一灰白	石莖、長石、小石を 中量含む	良	内一不明、外一不明	内外面赤彩		
65	92-8	B区C-8河遣	土師器	器台	10.4	14.4	内一浅黄橙、外一浅 黄橙	石莖、長石、黒雲母、 小石を少量含む	良	内一ナデ、外一ミガキ	内外面赤彩	
66	92-23	B区B-9河遣	土師器	器台	10.4	内一灰白、外一灰白	石莖、長石、黒雲母 少量含む	良	内一ナデ、外一ナデ	外面に赤彩、 外面に赤彩、 外面に赤彩、 外面に赤彩		
67	C-93	B区B-8河遣	土師器	器台	12.7	17.8	内一鈍い黄橙、外一 鈍い黄橙	石莖、長石、小石を 中量含む	良	内一ミガキ、外一ミガ キ	外面に赤彩、 外面に赤彩	
68	92-21	B区B-9河遣	土師器	器台	10.2	内一淡橙、外一橙	石莖、長石、小石を 少量含む	良	内一不明、外一不明	摩滅著しく調整不明		
69	92-20	B区B-9河遣	土師器	器台	13.0	内一灰白、外一灰白	石莖、長石、小石を 中量含む	良	内一ミガキ、外一ミガ キ	外面に赤彩、 外面に赤彩		
70	92-2	B区B-9河遣	土師器	鉢	19.0	3.0	内一鈍い橙、外一鈍 い橙	石莖、長石、黒雲母、 小石を少量含む	良	内一ナデ、外一ナデ	内外面赤彩	
71	92-65	B区B-9河遣	土師器	鉢	12.4	内一灰白、外一灰白	石莖、長石、小石を 中量含む	良	内一ナデ、外一ナデ	内外面赤彩		
72	92-3	B区B-8河遣	土師器	鉢	8.7	5.0	内一淡橙、外一淡橙	石莖、長石、小石を 多量含む	良	内一ナデ、外一ナデ	摩滅著しく調整不明	
73	D-109	B区C-8土坑1	珠洲焼	片口鉢	19.1	10.0	内一灰、外一灰	石粒をほとんど含 まない	良	内一ヨコナデ、外一 ヨコナデ、底部縁上赤切 り		
74	D-107	B区B-9土坑2	土師器	皿	15.7	9.2	内一灰白、外一灰白	石莖を少量含む	良	内一回転ナデ、外一回 転ナデ		
75	D-106	B区B-9土坑2	土師器	皿	16.0	2.9	内一鈍い橙、外一淡 赤	石莖を少量含む	良	内一回転ナデ、外一回 転ナデ		
76	D-105	B区B-9土坑2	土師器	皿	16.6	5.5	内一灰白、外一灰白	石莖、長石を少量含 む	良	内一回転ナデ、外一回 転ナデ		
77	D-104	B区B-9土坑2	土師器	小皿	9.5	3.5	内一灰白、外一灰白	石莖を少量含む	良	内一回転ナデ、外一回 転ナデ		

78	D-95	B区B-10溝4	須臾器	杯蓋	12.3		内一灰、外一明灰	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一固転ナデ、外一固転ナデ
79	D-67	B区溝4	須臾器	杯蓋	15.0	3.1	内一灰白、外一淡黄	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一固転ナデ、ナデ、外一固転ナデ、ヘラケ
80	D-69	B区溝4	須臾器	杯蓋	15.4	3.0	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一固転ナデ、ナデ、外一固転ナデ、ヘラケ
81	D-65	B区溝4	須臾器	杯蓋	15.1	3.7	内一灰、外一灰	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一固転ナデ、ナデ、外一固転ナデ、ヘラケ
82	D-62	B区溝4	須臾器	杯蓋	15.4	3.2	内一灰、外一黄灰	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一固転ナデ、ナデ、外一固転ナデ、ヘラケ
83	D-63	B区溝4	須臾器	杯蓋	14.6	3.0	内一灰白、外一淡黄	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一固転ナデ、ナデ、外一固転ナデ、ヘラケ
84	D-70	B区溝4	須臾器	杯蓋	14.7	3.4	内一明灰、外一明灰	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一固転ナデ、ナデ、外一固転ナデ、ヘラケ
85	D-45	B区溝4	須臾器	杯蓋	14.7	3.3	内一灰、外一灰	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一固転ナデ、ナデ、外一固転ナデ、ヘラケ
86	D-66	B区溝4	須臾器	杯蓋	15.0	3.3	内一灰、外一灰	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一固転ナデ、ナデ、外一固転ナデ、ヘラケ
87	D-111	B区溝4	須臾器	杯蓋	15.9	2.3	内一灰、外一灰	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一固転ナデ、ナデ、外一固転ナデ、ヘラケ
88	D-110	B区溝4	須臾器	杯蓋	14.7	3.7	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一固転ナデ、ナデ、外一固転ナデ、ヘラケ
89	D-64	B区溝4	須臾器	杯蓋	15.0	3.2	内一灰、外一黄灰	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一固転ナデ、ナデ、外一固転ナデ、ヘラケ
90	D-68	B区溝4	須臾器	杯蓋	14.2	2.4	内一灰、外一灰	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一固転ナデ、ナデ、外一固転ナデ、ヘラケ
91	D-87	B区溝4	須臾器	杯蓋	14.8	2.0	内一灰、外一灰	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一固転ナデ、ナデ、外一固転ナデ、ヘラケ
92	D-119	B区溝4	須臾器	杯蓋	14.2	2.6	内一灰、外一灰	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一固転ナデ、ナデ、外一固転ナデ、ヘラケ
93	D-43	B区溝4	須臾器	杯蓋	14.8	2.6	内一灰、外一灰	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一固転ナデ、ナデ、外一固転ナデ、ヘラケ
94	D-96	B区溝4	須臾器	杯蓋			内一灰、外一灰	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一固転ナデ、ナデ、外一固転ナデ、ヘラケ
95	D-97	B区溝4	須臾器	有台杯	14.5	9.4	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一固転ナデ、ナデ、外一固転ナデ、ヘラケ

96	D-39	B区溝4	須臾器	有台杯	14.0	6.7	4.2	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む。	良	内一回転ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケ	
97	D-37	B区溝4	須臾器	有台杯	13.4	8.6	5.0	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む。	良	内一回転ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケ	体部外面にへら記号
98	D-81	B区溝4	須臾器	有台杯	14.0	8.2	5.1	内一灰、外一剛灰	5mm以下の白色砂粒を含む。	良	内一回転ナデ、ナデ、ヘラケ	
99	D-76	B区溝4	須臾器	有台杯	12.8	8.8	5.6	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む。	良	内一回転ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケ	
100	D-40	B区溝4	須臾器	有台杯	14.1	8.1	4.5	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む。	良	内一回転ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケ	
101	D-42	B区溝4	須臾器	有台杯	12.8	8.6	4.9	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む。	不良	内一回転ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケ	
102	D-79	B区溝4	須臾器	有台杯	16.8	10.4	5.8	内一灰、外一灰	5mm以下の白色砂粒を含む。	良	内一回転ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケ	
103	D-77	B区溝4	須臾器	有台杯	13.7	8.1	4.4	内一灰、外一剛灰	5mm以下の白色砂粒を含む。	良	内一回転ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケ	
104	D-36	B区溝4	須臾器	有台杯	14.4	9.3	5.1	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む。	良	内一回転ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケ	
105	3	B区溝4	須臾器	有台杯	14.3	8.6	5.0	内一灰、外一灰	5mm以下の白色砂粒を含む。	良	内一回転ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケ	
106	D-74	B区溝4	須臾器	有台杯	12.8	7.8	5.2	内一剛灰、外一灰	5mm以下の白色砂粒を含む。	良	内一回転ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケ	
107	D-94	B区溝4	須臾器	有台杯	16.8			内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む。	不良	内一回転ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケ	
108	D-98	B区溝4	須臾器	有台杯	7.8			内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む。	良	内一回転ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケ	
109	D-38	B区溝4	須臾器	有台杯	15.2	8.8	5.7	内一剛灰、外一灰	5mm以下の白色砂粒を含む。	良	内一回転ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケ	
110	D-47	B区溝4	須臾器	有台杯	14.8	8.8	4.2	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む。	良	内一回転ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケ	
111	D-78	B区溝4	須臾器	有台杯	13.9	8.3	4.8	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む。	良	内一回転ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケ	
112	D-75	B区溝4	須臾器	有台杯	15.0	8.1	5.4	内一剛灰、外一剛灰	5mm以下の白色砂粒を含む。	良	内一回転ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケ	

113	D-41	B区溝4	須臾器	有台杯	14.2	9.2	5.7	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一回転ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
114	D-80	B区溝4	須臾器	有台杯	13.9	7.9	5.4	内一灰、外一暗灰	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
115	D-101	B区溝4	須臾器	杯	13.6	4.2	4.2	内一淡黄灰、外一淡黄灰	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一回転ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
116	D-89	B区溝4	須臾器	杯	13.3	7.8	4.5	内一灰白、外一灰褐色	5mm以下の白色砂粒を含む	不良	内一回転ナデ、ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
117	D-44	B区溝4	須臾器	杯	13.2	7.2	4.5	内一灰白、外一灰	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一回転ナデ、ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
118	D-83	B区溝4	須臾器	杯	12.6	6.8	3.7	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一回転ナデ、ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
119	D-49	B区溝4	須臾器	杯	12.6	7.6	4.1	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一回転ナデ、ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
120	D-90	B区溝4	須臾器	杯	11.5	6.6	3.5	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一回転ナデ、ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
121	D-91	B区溝4	須臾器	杯	12.0	7.2	4.5	内一灰、外一灰	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一回転ナデ、ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
122	D-51	B区溝4	須臾器	杯	12.1	5.1	3.4	内一灰、外一灰	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一回転ナデ、ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
123	D-54	B区溝4	須臾器	杯	11.6	4.4	4.4	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一回転ナデ、ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
124	D-58	B区溝4	須臾器	杯	12.6	6.0	4.4	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一回転ナデ、ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
125	D-82	B区溝4	須臾器	杯	14.7	8.1	4.9	内一灰、外一灰	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一回転ナデ、ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
126	D-48	B区溝4	須臾器	杯	12.4	7.4	3.8	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一回転ナデ、ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
127	D-50	B区溝4	須臾器	杯	13.4	8.4	3.8	内一灰、外一灰	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一回転ナデ、ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
128	D-88	B区溝4	須臾器	杯	12.4	7.2	4.2	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一回転ナデ、ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
129	D-55	B区溝4	須臾器	杯	11.2	5.8	3.4	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一回転ナデ、ナデ、外一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ

130	D-56	B区溝4	須臾器	杯	13.0	6.6	4.5	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
131	D-57	B区溝4	須臾器	杯	12.4	8.4	3.8	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
132	D-93	B区溝4	須臾器	杯	13.3	7.8	3.6	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
133	D-92	B区溝4	須臾器	杯	10.9	6.2	3.7	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
134	D-53	B区溝4	須臾器	椀	15.8		7.5	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
135	D-59	B区溝4	須臾器	杯	15.0	8.5	6.3	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
136	D-115	B区溝4	須臾器	壺				内一青灰、外一青灰	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
137	D-85	B区溝4	須臾器	凹面椀	14.7	20.6	6.8	内一青灰、外一青灰	5mm以下の白色砂粒を含む	良	内一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
138	D-61	B区溝4	土師器	杯	14.4	7.5	5.0	内一淡黄、外一淡黄	石灰中量、海綿骨片を少量含む	良	内一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
139	D-46	B区溝4	土師器	盤	28.0	18.5	3.5	内一淡黄、外一淡黄	石灰中量、海綿骨片を少量含む	良	内一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
140	92-4	B区包含層	土師器	椀	10.1	2.5	6.0	内一淡黄、外一淡黄	石灰中量、海綿骨片を少量含む	良	内一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
141	92-28	B区包含層	土師器	壺	19.4			内一灰白、外一灰白	石灰中量、海綿骨片を少量含む	良	内一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
142	92-53	B区包含層	土師器	壺	18.8			内一淡黄、外一淡黄	石灰中量、海綿骨片を少量含む	良	内一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
143	92-58	B区包含層	土師器	壺	17.2			内一淡黄、外一淡黄	石灰中量、海綿骨片を少量含む	良	内一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
144	92-56	B区包含層	土師器	壺	17.2			内一淡黄、外一淡黄	石灰中量、海綿骨片を少量含む	良	内一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
145	92-52	B区包含層	土師器	壺	17.2			内一淡黄、外一淡黄	石灰中量、海綿骨片を少量含む	良	内一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
146	92-59	B区包含層	土師器	壺	18.0			内一灰白、外一灰白	石灰中量、海綿骨片を少量含む	良	内一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
147	92-55	B区包含層	土師器	壺	18.8			内一淡黄、外一淡黄	石灰中量、海綿骨片を少量含む	良	内一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
148	92-18	B区包含層	土師器	壺	13.2			内一淡黄、外一淡黄	石灰中量、海綿骨片を少量含む	良	内一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
149	92-9	B区包含層	土師器	壺	15.3			内一淡黄、外一淡黄	石灰中量、海綿骨片を少量含む	良	内一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
150	92-57	B区包含層	土師器	壺	17.0			内一淡黄、外一淡黄	石灰中量、海綿骨片を少量含む	良	内一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
151	92-54	B区包含層	土師器	壺	12.0			内一淡黄、外一淡黄	石灰中量、海綿骨片を少量含む	良	内一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ
152	92-17	B区包含層	土師器	高杯				内一淡黄、外一淡黄	石灰中量、海綿骨片を少量含む	良	内一回転ナデ、ナデ、ヘラケスリ

153	C-81	B区包含層	土師器	高杯	14.4	19.2	10.6	内一浅黄橙、外一浅黄橙	石英、長石、黒雲母、小石を少量含む。	良	内一ナ子、外一ナ子	摩滅著しく調整不明
154	D-60	B区包含層	土師器	高杯				内一灰白、外一灰白	石英、長石を中量、滑石、黒雲母を少量含む。	良	内一黒ナ子、外一黒ナ子、ヘラケスリ	
155	D-35	B区包含層	須恵器	杯蓋	15.1		3.9	内一灰白、外一灰色	5mm以下の白色砂粒を含む。	良	内一黒ナ子、外一黒ナ子、ヘラケスリ	外面に黒書有
156	D-112	B区包含層	須恵器	杯蓋	15.4		3.1	内一灰色、外一灰色	5mm以下の白色砂粒を含む。	良	内一黒ナ子、外一黒ナ子、ヘラケスリ	
157	D-73	B区包含層	須恵器	杯蓋	15.3		3.4	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む。	良	内一黒ナ子、外一黒ナ子、ヘラケスリ	
158	D-118	B区包含層	須恵器	杯蓋	14.2		2.3	内一灰、外一明灰褐	5mm以下の白色砂粒を含む。	良	内一黒ナ子、外一黒ナ子、ヘラケスリ	
159	D-116	B区包含層	須恵器	有台杯	14.0	8.4	4.2	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む。	不良	内一黒ナ子、外一黒ナ子、ヘラケスリ	
160	D-84	B区包含層	須恵器	有台杯	13.2	7.7	4.9	内一灰白、外一淡黄灰	5mm以下の白色砂粒を含む。	良	内一黒ナ子、外一黒ナ子、ヘラケスリ	
161	D-100	B区包含層	須恵器	有台杯	15.6	9.2	4.8	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む。	良	内一黒ナ子、外一黒ナ子、ヘラケスリ	
162	D-52	B区包含層	須恵器	有台杯	14.4	8.4	5.1	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む。	良	内一黒ナ子、外一黒ナ子、ヘラケスリ	
163	9	B区包含層	須恵器	有台杯	14.0	7.0	4.4	内一灰、外一灰	5mm以下の白色砂粒を含む。	良	内一黒ナ子、外一黒ナ子、ヘラケスリ	
164	D-114	B区包含層	須恵器	鉢	22.0	10.1	10.1	内一灰、外一灰	5mm以下の白色砂粒を含む。	良	内一黒ナ子、外一黒ナ子、ヘラケスリ	
165	D-120	B区包含層	須恵器	壺	23.9			内一明灰、外一灰	5mm以下の白色砂粒を含む。	不良	内一黒ナ子、外一黒ナ子、ヘラケスリ	
166	D-117	B区包含層	須恵器	壺	16.1			内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む。	良	内一黒ナ子、外一黒ナ子、ヘラケスリ	
167	D-86	B区包含層	須恵器	瓶	27.4	14.0	26.5	内一灰白、外一灰白	5mm以下の白色砂粒を含む。	良	内一黒ナ子、外一黒ナ子、ヘラケスリ	
168	C-29	C区凝灰	弥生土器	壺	18.8			内一浅黄橙、外一浅黄橙	石英、長石、黒雲母を中量含む。	良	内一ヨコナ子、ヘラケスリ、外一ヨコナ子、ハケ	
169	C-7	C区凝灰	弥生土器	壺	16.2			内一黄、外一緑い	石英、長石、黒雲母、小石を中量、滑石を少量含む。	良	内一ヨコナ子、ヘラケスリ、外一ヨコナ子、ハケ	
170	C-27	C区凝灰	弥生土器	壺	17.5			内一灰白、外一灰白	石英、長石、黒雲母、小石を少量含む。	良	内一ヨコナ子、外一ヨコナ子、ヘラケスリ	
171	C-61	C区凝灰	弥生土器	壺	16.0			内一黒橙、外一黒橙	石英、長石、黒雲母を少量含む。	良	内一ヨコナ子、外一ヨコナ子、ヘラケスリ	
172	C-4	C区凝灰	弥生土器	壺	18.2	3.1	25.5	内一浅黄橙、外一浅黄橙	石英、長石、黒雲母、小石を中量、滑石を少量含む。	良	内一ヨコナ子、外一ヨコナ子、ヘラケスリ	

173	C-54	C区溝2	弥生土器	壺	16.9			内一暗灰黄、外一灰黄	石英、長石、黒雲母、凝結薄片を中量含む	良	内一ヨコナデ、ハケ、ヘラケスリ、外一ヨコナデ、ハケ
174	C-57	C区溝2	弥生土器	壺	19.1			内一浅黄橙、外一浅黄橙	石英、長石、黒雲母を少量含む	良	内一ヨコナデ、ハケ、ヘラケスリ、外一ヨコナデ、ハケ
175	C-62	C区溝2	弥生土器	壺	16.8			内一浅黄橙、外一純白黄橙	石英、長石、黒雲母、凝結薄片を少量含む	良	内一ヨコナデ、ハケ、ヘラケスリ、外一ヨコナデ、ハケ
176	C-25	C区溝2	弥生土器	壺	16.0			内一黒橙、外一黒橙	石英、長石、黒雲母、凝結薄片を中量含む	良	内一ヨコナデ、ヘラケスリ、外一ヨコナデ、ハケ
177	C-56	C区溝2	弥生土器	壺	16.6			内一浅黄橙、外一浅黄橙	石英、長石、黒雲母を少量含む	良	内一ヨコナデ、ヘラケスリ、外一ヨコナデ、ハケ
178	C-30	C区溝2	弥生土器	壺	15.4			内一黒橙、外一灰黄橙	石英、長石、黒雲母、凝結薄片を少量含む	良	内一ヨコナデ、ヘラケスリ、外一ヨコナデ、ハケ
179	C-55	C区溝2	弥生土器	壺	14.1			内一黄灰、外一黄灰	石英、長石、黒雲母、凝結薄片を少量含む	良	内一ヨコナデ、ヘラケスリ、外一ヨコナデ、ハケ
180	C-24	C区溝2	弥生土器	壺	12.5			内一赤橙、外一赤橙	石英、長石、黒雲母を中量含む	良	内一ヨコナデ、ハケ、ヘラケスリ、外一ヨコナデ、ハケ
181	C-31	C区溝2	弥生土器	壺	8.8	3.6		内一浅黄橙、外一淡黄	石英、長石を少量含む	良	内一不明、外一ミカキ
182	C-10	C区溝2	弥生土器	壺				内一純白黄橙、外一黄	石英、長石、黒雲母、凝結薄片を中量含む	良	内一ミカキ、ナデ、ヘラケスリ、ハケ、外一ミカキ
183	C-8	C区溝2	弥生土器	壺	13.7	7.0	22.0	内一浅黄橙、外一浅黄橙	石英、長石、黒雲母、凝結薄片を中量含む	良	内一ヨコナデ、ナデ、ヘラケスリ、ハケ、外一ヨコナデ、ナデ、ハケ
184	C-3	C区溝2	弥生土器	台付壺		8.7		内一浅黄橙、外一浅黄橙	石英、長石、小石を少量含む	良	内一不明、外一ミカキ
185	C-26	C区溝2	弥生土器	壺	8.7			内一純白黄橙、外一淡黄	石英、長石を中量含む	良	内一ハケ、ナデ、外一ヨコナデ、ナデ、ハケ
186	C-53	C区溝2	弥生土器	台付壺		6.2		内一浅黄橙、外一淡黄	石英、長石、小石を少量含む	良	内一不明、外一ミカキ
187	C-2	C区溝2	弥生土器	壺				内一浅黄橙、外一浅黄橙	石英、長石、小石を少量含む	良	内一不明、外一ミカキ
188	27	C区溝2	弥生土器	台付壺	11.0			内一淡橙、外一淡橙	石英、長石を少量含む	良	内一ハケ、外一ミカキ
189	C-28	C区溝2	弥生土器	高杯	16.0	9.4	17.0	内一灰白、外一浅黄橙	石英、長石を少量含む	良	内一ナデ、外一ミカキ
190	C-23	C区溝2	弥生土器	台付鉢		5.7		内一黒灰、外一黒灰	石英、長石、黒雲母を少量含む	良	内一不明、外一ハケ、ナデ
191	92-80	C区溝4土器タマ	土師器	壺	22.2			内一浅黄橙、外一浅黄橙	石英、長石、小石を少量含む	良	内一ヨコナデ、ヘラケスリ、外一ヨコナデ
192	92-106	C区溝4土器タマ	土師器	壺	17.4			内一灰白、外一浅黄橙	石英、長石、小石を少量含む	良	内一ヨコナデ、外一ヨコナデ
193	92-107	C区溝4土器タマ	土師器	壺	19.6			内一灰白、外一灰白	石英、長石を中量含む	良	内一ヨコナデ、外一ヨコナデ
194	92-104	C区溝4土器タマ	土師器	壺	20.0			内一浅黄橙、外一浅黄橙	石英、長石、小石を少量含む	良	内一ヨコナデ、外一ヨコナデ
195	92-99	C区溝4土器タマ	土師器	壺	18.6			内一浅黄橙、外一浅黄橙	石英、長石、小石を少量含む	良	内一ヨコナデ、ヘラケスリ、外一ヨコナデ、ナデ

196	C区海4土器タマ 92-109 リ	土師器	壺	19.8		内-灰白,外-緑い	石灰,長石を中量含 む	良	内-ヨコナテ,外-ヨ コナテ	摩滅著しく調整不明
197	C区海4土器タマ 92-102	土師器	壺	18.2		内-灰白,外-灰白	石灰,黒雲母を少量 含む	良	内-ヨコナテ,外-ヨ コナテ	摩滅著しく調整不明
198	C区海4土器タマ 92-110	土師器	壺	19.8		内-相沢,外-赤體	石灰,長石を中量含 む	良	内-ヨコナテ,外-ヨ コナテ	摩滅著しく調整不明
199	C区海4土器タマ 92-103	土師器	壺	17.3		内-灰白,外-灰白	石灰,小石を 中量含む	良	内-ヨコナテ,外-ヨ コナテ	摩滅著しく調整不明
200	C区海4土器タマ 92-95	土師器	壺	18.2		内-淡黄,外-淡黄	石灰,長石を中量含 む	良	内-ヨコナテ,外-ヨ コナテ	摩滅著しく調整不明
201	C区海4土器タマ 92-96	土師器	壺	15.6		内-淡體,外-淡黄	石灰,黒雲母 を中量含む	良	内-ハク,外-ケズリ, 外-ヨコナテ,ハケ, 外-ヨコナテ,ハケ	摩滅著しく調整不明
202	C区海4土器タマ 92-94	土師器	壺	16.3		内-淡黄,外-淡 黄體	石灰,長石,小石を 中量含む	良	内-ヨコナテ,ハケ, 外-ヨコナテ,ハケ	摩滅著しく調整不明
203	C区海4土器タマ 92-97	土師器	壺	17.1		内-灰白,外-緑い	石灰,長石を中量含 む	良	内-ヨコナテ,外-ヨ コナテ	摩滅著しく調整不明
204	C区海4土器タマ 92-98	土師器	壺	16.4		内-灰白,外-淡黄	石灰,長石を中量含 む	良	内-ヨコナテ,外-ヨ コナテ	摩滅著しく調整不明
205	C区海4土器タマ 92-100	土師器	壺	19.8		内-灰白,外-灰體	石灰,長石を少量含 む	良	内-ヨコナテ,外-ヨ コナテ	摩滅著しく調整不明
206	C区海4土器タマ 92-105	土師器	壺	20.2		内-灰白,外-灰體	石灰,長石,小石を 少量含む	良	内-ヨコナテ,外-ヨ コナテ	摩滅著しく調整不明
207	C区海4土器タマ 92-81	土師器	壺	13.6		内-淡黄,外-緑 い黄體	石灰,黒雲母,小石 を中量含む	良	内-ナテ,外-ナテ, 内-ヨコナテ,外-ヨ コナテ	摩滅著しく調整不明
208	C区海4土器タマ 92-78	土師器	壺		3.6	内-淡黄,外-緑 い黄體	石灰,長石,小石を 少量含む	良	内-ナテ,外-ナテ, 内-ヨコナテ,外-ヨ コナテ	摩滅著しく調整不明
209	C区海4土器タマ 92-101	土師器	壺		13.2	内-淡黄,外-緑 い體	石灰,長石を中量含 む	良	内-ナテ,外-ナテ, 内-ヨコナテ,外-ヨ コナテ	摩滅著しく調整不明
210	C区海4土器タマ 92-79	土師器	高杯			内-灰白,外-灰白	石灰,黒雲母, 小石を中量含む	良	内-ヨコナテ,ハケ, 外-ヨコナテ,ハケ, 外-ヨコナテ,ハケ, 外-ヨコナテ,ハケ, 外-ヨコナテ,ハケ	摩滅著しく調整不明
211	C-16 C区海4	土師器	壺	19.2	24.5	内-淡黄,外-緑 い體	石灰,長石,黒雲母 を中量含む	良	内-ヨコナテ,ハケ, 外-ヨコナテ,ハケ, 外-ヨコナテ,ハケ, 外-ヨコナテ,ハケ	摩滅著しく調整不明
212	C-58 C区海4	土師器	壺	15.1	20.2	内-緑い體,外-緑 い體	石灰,黒雲母 を中量含む	良	内-不明,外-ハケ, 外-ハケズリ	摩滅著しく調整不明
213	C-18 C区海4	土師器	壺	20.3	24.0	内-淡黄,外-淡 黄體	石灰,黒雲母 を少量含む	良	内-不明,外-ハケ, 外-ハケズリ	摩滅著しく調整不明
214	C-22 C区海4	土師器	壺	16.8		内-灰黄,外-黄 體	石灰,長石,黒雲母 を少量含む	良	内-ヨコナテ,ハケ, 外-ヨコナテ,ハケ, 外-ハケズリ	摩滅著しく調整不明
215	C-60 C区海4	土師器	壺	16.4		内-緑い黄,外- 緑い黄體	石灰,黒雲母, 滑石を少量含む	良	内-不明,外-ヨコナ テ,ハケ	摩滅著しく調整不明
216	C-102 C区海4	土師器	壺	14.2		内-淡黄,外-淡 黄體	石灰,長石を少量含 む	良	内-ヨコナテ,外-ヨ コナテ,ハケ	摩滅著しく調整不明
217	C-108 C区海4	土師器	壺	17.4		内-緑い黄,外- 淡黄體	石灰,長石,黒雲母 を少量含む	良	内-ヨコナテ,外-ヨ コナテ,ハケ	摩滅著しく調整不明
218	92-127 C区海4	土師器	壺	19.4		内-淡體,外-淡體	石灰,長石,小石を中 量含む	良	内-ヨコナテ,外-ヨ コナテ	内面赤彩
219	92-126 C区海4	土師器	壺	21.2		内-灰白,外-灰白	石灰,長石を少量含 む	良	内-ヨコナテ,外-ヨ コナテ	内面赤彩
220	C-105 C区海4	土師器	壺	15.8		内-灰黄,外-灰 黄體	石灰,長石,黒雲母, 滑石を少量含む	良	内-ヨコナテ,外-ヨ コナテ,ハケ	摩滅著しく調整不明

221	C区溝4	土師器	慶	20.8			内一浅黄橙、外一浅黄橙	石英、長石、小石を少量含む	内一ヨコナデ、外一ヨコナデ、ハケ	良	摩滅著しく調整不明
222	C区溝4	土師器	慶	19.0			内一淡黄、外一淡黄	石英、長石、小石を少量含む	内一ヨコナデ、外一ヨコナデ、ハケ	良	摩滅著しく調整不明
223	C区溝4	土師器	慶	19.0			内一灰、外一灰黄緑	石英、長石、小石を少量含む	内一ヨコナデ、外一ヨコナデ、ハケ	良	摩滅著しく調整不明
224	C区溝4	土師器	慶	25.2			内一浅黄橙、外一浅黄緑	石英、長石、黒雲母、赤鉄屑を少量含む	内一ヨコナデ、外一ヨコナデ、ハケ	良	摩滅著しく調整不明
225	C区溝4	土師器	慶	20.0			内一鈍い黄橙、外一鈍い黄橙	石英、長石、黒雲母を少量含む	内一ハケ、外一ヨコナデ、ハケ	良	摩滅著しく調整不明
226	C区溝4	土師器	慶	23.8			内一灰白、外一淡黄	石英、長石、黒雲母を少量含む	内一ヨコナデ、ハケ、外一不明	良	摩滅著しく調整不明
227	C区溝4	土師器	慶	18.3			内一浅黄橙、外一浅黄緑	石英、長石、海綿骨、赤鉄屑を少量含む	内一不明	良	摩滅著しく調整不明
228	C区溝4	土師器	慶	24.2			内一浅黄橙、外一黄緑	石英、長石、黒雲母、赤鉄屑を少量含む	内一ヨコナデ、ハケ、外一不明	良	摩滅著しく調整不明
229	C区溝4	土師器	慶	18.8			内一鈍い黄橙、外一鈍い黄橙	石英、長石、黒雲母、赤鉄屑を少量含む	内一ヨコナデ、ハケ、外一ヨコナデ、ハケ、ケズリ	良	摩滅著しく調整不明
230	C区溝4	土師器	慶	18.9			内一橙(口縁)灰(体部)、外一橙(口縁)灰(体部)	石英、長石、黒雲母を少量含む	内一不明	良	摩滅著しく調整不明
231	C区溝4	土師器	慶	17.4			内一浅黄橙、外一鈍い黄橙	石英、長石、黒雲母を少量含む	内一ヨコナデ、ナデ、ハケ、外一ヨコナデ、ハケ	良	摩滅著しく調整不明
232	C区溝4	土師器	慶	19.4			内一黄橙、外一浅黄緑	石英、長石、小石を少量含む	内一不明	良	摩滅著しく調整不明
233	C区溝4	土師器	慶	19.7			内一黄橙、外一浅黄緑	石英、長石、小石を少量含む	内一不明	良	摩滅著しく調整不明
234	C区溝4	土師器	慶	13.2			内一鈍い黄橙、外一鈍い黄橙	石英、長石、黒雲母、赤鉄屑を少量含む	内一ヨコナデ、ハケ、外一不明	良	摩滅著しく調整不明
235	C区溝4	土師器	慶	20.4			内一淡黄、外一淡黄	石英、長石、黒雲母を少量含む	内一不明	良	摩滅著しく調整不明
236	C区溝4	土師器	慶	17.7			内一橙、外一橙	石英、長石、黒雲母を少量含む	内一ヨコナデ、ハケ、外一ヨコナデ、ハケ	良	摩滅著しく調整不明
237	C区溝4	土師器	慶	22.2			内一浅黄橙、外一浅黄緑	石英、長石、中量を含む	内一ハケ、外一不明	良	摩滅著しく調整不明
238	C区溝4	土師器	慶	20.6			内一浅黄橙、外一鈍い黄橙	石英、長石、黒雲母を少量含む	内一ハケ、外一ハケ	良	摩滅著しく調整不明
239	C区溝4	土師器	慶	17.2			内一浅黄橙、外一鈍い黄橙	石英、長石、黒雲母、赤鉄屑を少量含む	内一ヨコナデ、ハケ	良	摩滅著しく調整不明
240	C区溝4	土師器	慶	19.0			内一淡黄、外一鈍い黄橙	石英、長石、中量を含む	内一不明、外一ヨコナデ、ハケ	良	摩滅著しく調整不明
241	C区溝4	土師器	慶	18.1			内一淡黄、外一鈍い黄橙	石英、長石、中量を含む	内一ヨコナデ、ハケ、外一ヨコナデ	良	摩滅著しく調整不明
242	C区溝4	土師器	慶	17.6			内一浅黄橙、外一浅黄緑	石英、長石、中量を含む	内一不明	良	摩滅著しく調整不明
243	C区溝4	土師器	慶	19.4			内一浅黄橙、外一浅黄緑	石英、長石、中量を含む	内一不明	良	摩滅著しく調整不明

244	C-107	C区溝4	土師器	壺	15.4		内一鈍い黄橙、外一鈍い黄橙	石莖、長石、黒雲母を少量含む	内一ヨコナナテ、外一ヨコナナテ、ハケ	良
245	C-110	C区溝4	土師器	壺	16.2		内一鈍い黄橙、外一鈍い黄橙	石莖、長石、黒雲母を少量含む	内一ヨコナナテ、外一ヨコナナテ、ハケ	良
246	C-106	C区溝4	土師器	壺	17.0		内一鈍い黄橙、外一鈍い黄橙	石莖、長石、黒雲母、黒綿硝片を少量含む	内一ヨコナナテ、ハケ、外一ヨコナナテ、ハケ	良
247	C-72	C区溝4	土師器	壺	15.8		内一淡黄、外一鈍い黄橙	石莖、長石、黒雲母を少量含む	内一不明、外一ヨコナナテ、ハケ	良
248	C-100	C区溝4	土師器	壺	15.4		内一淡黄、外一淡黄	石莖、長石、黒雲母を少量含む	内一ヨコナナテ、外一ヨコナナテ	良
249	C-78	C区溝4	土師器	壺	16.6		内一鈍い黄橙、外一鈍い黄橙	石莖、長石、黒雲母、中炭、黒綿硝片を少量含む	内一ハケ、外一ヨコナナテ、ハケ	良
250	92-123	C区溝4	土師器	壺	22.4		内一淡黄橙、外一淡黄	石莖、長石、小石を少量含む	内一ハケ、外一ハケ	良
251	92-45	C区溝4	土師器	壺	18.4		内一灰白、外一灰白	石莖、長石、黒雲母、中炭、高石を少量含む	内一ヨコナナテ、ハケ、外一ヨコナナテ、ハケ	良
252	C-104	C区溝4	土師器	壺	17.9		内一淡黄橙、外一淡黄	石莖、長石、黒雲母を少量含む	内一ヨコナナテ、ハケ、外一ヨコナナテ、ハケ	良
253	92-44	C区溝4	土師器	壺	19.0		内一灰白、外一灰白	石莖、長石、小石を少量含む	内一ヨコナナテ、ハケ、外一ヨコナナテ、ハケ	良
254	92-46	C区溝4	土師器	壺	16.4		内一灰白、外一灰白	石莖、長石、小石を少量含む	内一ヨコナナテ、ハケ、外一ヨコナナテ、ハケ	良
255	92-39	C区溝4	土師器	壺	19.6		内一淡黄、外一橙	石莖、長石、小石を少量含む	内一ヨコナナテ、ハケ、外一ヨコナナテ、ハケ	良
256	92-51	C区溝4	土師器	壺	17.6		内一灰白、外一灰白	石莖、長石、黒雲母、小石を少量含む	内一ヨコナナテ、外一ヨコナナテ	良
257	92-50	C区溝4	土師器	壺	21.8		内一灰白、外一灰白	石莖、長石、中炭、高石を少量含む	摩滅著しく調整不明	良
258	92-42	C区溝4	土師器	壺	17.8		内一鈍い黄橙、外一鈍い黄橙	石莖、長石、黒雲母、小石を少量含む	内一ハケ、外一ハケ	良
259	92-40	C区溝4	土師器	壺	16.5		内一鈍い黄橙、外一淡黄	石莖、長石、小石を少量含む	摩滅著しく調整不明	良
260	92-43	C区溝4	土師器	壺	20.4		内一灰白、外一灰白	石莖、中炭、黒石を少量含む	摩滅著しく調整不明	良
261	92-49	C区溝4	土師器	壺			内一淡黄橙、外一黄橙	石莖、長石、黒雲母、小石を少量含む	内一ヨコナナテ、ハラケスリ、外一ハケ	良
262	C-42	C区溝4	土師器	壺			内一鈍い黄橙、外一鈍い黄橙	石莖、長石、黒雲母、中炭、黒綿硝片を少量含む	内一ハケ、外一ハケ、ミガキ	良
263	C-48	C区溝4	土師器	壺	14.0		内一淡黄橙、外一淡黄	石莖、長石、黒雲母、中炭、黒綿硝片を少量含む	内一ヨコナナテ、外一ヨコナナテ	良
264	92-76	C区溝4	土師器	壺			内一淡黄橙、外一鈍い黄橙	石莖、長石、小石を少量含む	内一ハケ、外一ハケ、ナナテ	良
265	92-77	C区溝4	土師器	壺	6.6		内一鈍い黄橙、外一灰白	石莖、長石、小石を少量含む	内一ハケ、ハラケスリ、外一ハラケスリ、ミガキ	良
266	C-41	C区溝4	土師器	壺	11.6		内一淡黄橙、外一淡黄	石莖、長石、黒雲母を少量含む	内一ミガキ、外一ミガキ	良

292	C区溝4	土師器	高杯						内一脱い黄橙、外一狭い黄橙	石炭、黒雲母、小石を中量含む	良	内一ミガキ、ナデ、外一ミガキ	外面赤彩
293	C区溝4	土師器	器台	9.2	12.0	8.6			内一灰白、外一灰白	石炭、長石、小石を中量含む	良	内一ミガキ、ハケ、ヨコナデ、外一ミガキ	摩滅著しく調整不明
294	C区溝4	土師器	器台	9.0	13.1	8.4			内一淡黄、外一淡黄	石炭、黒雲母を中量含む	良		外面赤彩
295	C区溝4	土師器	器台	9.5	12.3	8.2			内一狭い黄橙、外一狭い黄橙	石炭、長石を中量含む	良		摩滅著しく調整不明
296	C区溝4	土師器	器台	11.2	12.8	8.8			内一脱い橙、外一脱い黄	石炭、黒雲母を中量含む	良		摩滅著しく調整不明
297	92-48	C区溝4	鉢	17.0					内一灰白、外一淡黄、内一黒黒、外一黒	石炭、長石を中量含む	良	内一ヨコナデ、外一ヨコナデ	
298	C-47	C区溝4	角型土器						内一淡黄橙、外一淡黄橙	石炭、長石を中量含む	良	内一ナデ、外一ナデ、ハケ	
299	C-79	C区溝4	土師器	鉢	10.2				内一淡黄橙、外一淡黄橙	石炭、長石、小石を中量含む	良	内一不明、外一ヨコナデ、ハケ	
300	C-80	C区溝4	土師器	鉢	10.1				内一淡黄橙、外一淡黄橙	石炭、長石、小石を中量含む	良		摩滅著しく調整不明
301	C-6	C区溝4	土師器	台付鉢	11.2	6.0	6.8		内一脱い灰白、外一脱い灰白	石炭、長石を中量含む	良	内一ミガキ、ナデ、外一ミガキ、ハケ	
302	C-20	C区溝4	土師器	鉢	28.2		9.1		内一淡黄橙、外一淡黄橙	石炭、長石を中量含む	良	内一ヨコナデ、外一ヨコナデ	外面赤彩
303	C-32	C区包含層	茶生土器	蓋	9.3		4.4		内一灰白、外一灰白	石炭、長石を中量含む	良		摩滅著しく調整不明
304	C-21	C区包含層	土師器	壺	24.3		29.9		内一淡黄橙、外一淡黄橙	石炭、長石、小石を中量含む	良	内一ヨコナデ、外一ヨコナデ、ハケ、外一ヨコナデ	摩滅著しく調整不明
305	92-91	C区包含層	土師器	壺	17.0				内一灰白、外一灰白	石炭、長石、小石を中量含む	良		
306	92-92	C区包含層	土師器	壺	18.8				内一脱い黄橙、外一狭い黄橙	石炭、長石、小石を中量含む	良	内一ヨコナデ、外一ヨコナデ	
307	92-87	C区包含層	土師器	壺	13.8				内一灰白、外一黒	石炭、長石、小石を中量含む	良	内一ハケ、外一ハケ	
308	92-86	C区包含層	土師器	壺	18.2				内一淡黄橙、外一淡黄橙	石炭、長石、小石を中量含む	良	内一ヨコナデ、外一ヨコナデ	
309	92-83	C区包含層	土師器	壺	15.6				内一淡黄橙、外一淡黄橙	石炭、長石、小石を中量含む	良		摩滅著しく調整不明
310	92-88	C区包含層	土師器	壺	16.0				内一狭い黄橙、外一淡黄橙	石炭、黒雲母、小石を中量含む	良	内一ヨコナデ、外一ヨコナデ	
311	92-89	C区包含層	土師器	壺	22.6				内一灰白、外一灰白	石炭、長石、小石を中量含む	良		摩滅著しく調整不明
312	92-84	C区包含層	土師器	壺	18.4				内一淡黄橙、外一灰白	石炭、長石を中量含む	良	内一ヨコナデ、外一ヨコナデ	
313	92-90	C区包含層	土師器	壺	19.6				内一淡黄、外一淡黄	石炭、黒雲母、小石を少量含む	良	内一不明、外一ハケ	
314	92-82	C区包含層	土師器	壺	18.6				内一淡黄、外一淡黄	石炭、長石を中量含む	良	内一ヨコナデ、外一ヨコナデ	
315	C-5	C区包含層	土師器	壺	24.6				内一灰白、褐灰、外一灰白	石炭、長石、小石を中量含む	良	内一不明、外一ミガキ	内外面赤彩
316	92-26	C区包含層	土師器	壺	12.4				内一淡黄橙、外一淡黄橙	石炭、黒雲母、小石を中量含む	良	内一ヨコナデ、外一ヨコナデ	内外面赤彩
317	92-85	C区包含層	土師器	壺					内一淡黄、外一淡黄	石炭、長石、黒雲母を中量含む	良	内一ヨコナデ、外一ヨコナデ	内外面赤彩

318	92-1	C区包含層	土師器	高杯	19.2	14.0	12.5	内一淡黄、外一淡黄 内一淡黄、外一淡黄 黄褐色	石英、長石、黒雲母、 小石を少量含む	良	内一ニガキ、ナ子、外 ニガキ	内外面赤彩
319	92-93	C区包含層	土師器	高杯	16.0				石英、長石を中量含む	良	内一ナ子、外一不明	外面赤彩
320	92-64	C区包含層	土師器	鉢	16.2			内一灰白、外一赤	石英、小石を少量含む	良	内一ヨコナ子、外一ヨ コナ子	内外面赤彩
321	C-33	C区包含層	土師器	鉢	22.4			内一灰白、外一灰白	石英、長石、黒雲母 を中量含む	良	内一ニガキ、外一ハ ケ	
322	C-91	C区包含層	土師器	鉢	11.9		6.7	内一淡黄、外一淡黄	石英、長石、黒雲母 を少量含む	良	内一ハケ、外一ハケ	
323	C-92	C区包含層	土師器	鉢	9.0	2.3	7.3	内一淡黄、外一淡黄	石英、長石、黒雲母 を少量含む	良		摩滅著しく調整不明
324	D-33	C区溝1	須恵器	有台椀	12.7	8.8	3.6	内一灰赤、外一灰赤 内一灰白、外一灰白 黄褐色	砂粒を極めて多く 含む	良	内一回転ナ子、外一回 転ナ子、ヘラケスリ	
325	D-108	C区土坑1	土師器	長胴壺	16.1			内一灰白、外一灰白 黄褐色	石英、長石を中量含む	良	内一タタキ、ナ子、外 タタキ、ナ子	
326	D-4	C区土坑1	土師器	長胴壺	19.6		31.4	内一鈍い黄褐色、外一 鈍い黄褐色	石英、長石、黒雲母 を多量に含む	良	内一ヨコナ子、外一ヨ コナ子、ヘラケスリ、カ ケスリ、回転ナ子	
327	D-102	C区土坑1	土師器	長胴壺	21.4			内一鈍い、外一鈍い 黄褐色	石英、長石、黒雲母 を多量に含む	良	内一ヨコナ子、外一ヨ コナ子、ヘラケスリ、カ ケスリ、回転ナ子	
328	D-14	C区河道	須恵器	軒蓋	10.4			内一灰、外一灰	5mm以下の白色砂粒 を含む	良	内一回転ナ子、外一回 転ナ子	
329	D-1	C区河道	土師器	椀	12.4	5.5	4.0	内一淡黄褐色、外一淡 黄褐色	石英を少量含む	良	内一回転ナ子、外一回 転ナ子	
330	D-10	C区河道	土師器	有台椀		7.7		内一鈍い黄褐色、外一 鈍い黄褐色	石英、長石を中量、海 綿骨片を少量含む	良	内一回転ナ子、外一 回転ナ子	
331	D-21	C区河道	土師器	有台椀		7.2		内一黒、外一鈍い黄 褐色	石英、長石、黒雲母、 海綿骨片を中量含む	良	内一ニガキ、外一回転 ナ子	
332	D-34	C区河道	土師器	有台椀	14.5	6.6	4.9	内一淡黄褐色、外一淡 黄褐色	石英を少量含む	良	内一回転ナ子、外一 回転ナ子	
333	D-9	C区河道	土師器	椀	12.5	6.3	4.0	内一鈍い黄褐色、明褐色 灰、外一灰黄褐色	石英、長石、黒雲母 を中量含む	良	内一回転ナ子、外一 回転ナ子	
334	D-20	C区河道	土師器	有台椀		7.7		内一黒、外一明褐色	石英、長石、黒雲母 を少量含む	良	内一ニガキ、外一回転 ナ子	
335	D-22	C区河道	土師器	有台椀		6.8		内一黒、外一淡黄褐色	石英、長石、黒雲母 を少量含む	良	内一回転ナ子、外一 回転ナ子	
336	D-12	C区河道	土師器	有台椀		7.3		内一灰黄、外一灰黄	石英、長石、黒雲母 を中量、海綿骨片を少 量含む	良	内一回転ナ子、外一 回転ナ子	
337	D-23	C区河道	土師器	有台椀				内一黒、外一鈍い黄 褐色	石英、長石、黒雲母 を少量含む	良	内一ニガキ、外一回転 ナ子	
338	D-19	C区河道	土師器	有台椀				内一黒、灰黄褐色、外一 鈍い黄褐色	石英、長石、黒雲母 を少量含む	良	内一ニガキ、外一回転 ナ子	
339	D-2	C区河道	土師器	椀	14.9	7.3	4.6	内一淡褐色、外一淡褐色	石英を少量含む	良	内一回転ナ子、外一 回転ナ子	

340	D-7	C区河道	土師器	椀	13.7	5.6	4.0	内-淡黄橙,外-淡黄橙	石灰,黒石を少量含む	良	内一回転ナテ,外一回転ナテ
341	D-3	C区河道	土師器	椀	14.9	5.7	4.6	内-鈍い橙,外-鈍い赤褐色	石灰を少量含む 石莖,黒雲母を少量含む	良	内一回転ナテ,外一回転ナテ
342	D-15	C区河道	土師器	椀	12.9			内-鈍い黄橙,外-鈍い黄橙	石灰,黒雲母を少量含む 石莖,黒雲母を少量含む	良	内一回転ナテ,外一回転ナテ
343	D-17	C区河道	土師器	椀	15.5			内-鈍い黄橙,外-鈍い黄橙	石灰,黒雲母を少量含む 石莖,黒雲母を少量含む	良	内一回転ナテ,外一回転ナテ
344	D-16	C区河道	土師器	椀	15.1			内-鈍い黄橙,外-鈍い黄橙	石灰,黒雲母を少量含む 石莖,黒雲母を少量含む	良	内一回転ナテ,外一回転ナテ
345	D-18	C区河道	土師器	椀	14.4			内-淡赤橙,外-淡赤褐色	石灰,黒雲母を少量含む	良	内一回転ナテ,外一回転ナテ
346	D-24	C区河道	土師器	椀	14.3			内-褐色,外-明褐色	石灰,黒雲母を少量含む	良	内一回転ナテ,外一回転ナテ
347	D-27	C区河道	土師器	椀	16.2			内-鈍い黄橙,外-鈍い黄褐色	石灰,黒雲母を少量含む	良	内一回転ナテ,外一回転ナテ
348	D-30	C区河道	土師器	椀		6.0		内-褐色,外-黄灰赤褐色	石灰を少量含む	良	内一回転ナテ,外一回転ナテ
349	D-28	C区河道	土師器	椀		5.8		内-淡赤橙,外-淡赤褐色	石灰,黒雲母を少量含む	良	内一回転ナテ,外一回転ナテ
350	D-6	C区河道	土師器	小皿	8.6	5.6	2.3	内-橙,外-一體	石灰,黒雲母を少量含む	良	内一回転ナテ,外一回転ナテ
351	D-8	C区河道	土師器	小皿	9.0	5.8	2.7	内-灰黄,外-灰黄	石灰,黒雲母を少量含む 滑石片を少量含む	良	内一回転ナテ,外一回転ナテ
352	D-7	C区河道	土師器	小皿	8.2	4.2	1.9	内-橙,外-一體	石灰,黒雲母を少量含む	良	内一回転ナテ,外一回転ナテ
353	D-11	C区河道	土師器	小皿	9.7	4.2	3.5	内-鈍い黄橙,外-鈍い黄褐色	石灰,黒雲母を少量含む 小石を少量含む	良	内一回転ナテ,外一回転ナテ
354	D-13	C区河道	土師器	小皿		4.6		内-明褐色,外-明褐色	石灰,黒雲母を少量含む	良	内一回転ナテ,外一回転ナテ
355	D-25	C区河道	須恵器	甌	23.5			内-黄灰,外-黄灰	5mm以下の白色砂粒を含む	良	外一回転ナテ,外一回転ナテ,外一回転ナテ,外一回転ナテ
356	D-113	C区河道	須恵器	長頸壺				内-灰,外-灰	5mm以下の白色砂粒を含む	良	外一回転ナテ,外一回転ナテ



春木1号塚（北から）



1号塚（北東から）



斜面・平坦面地区（西から）



斜面・平坦面地区（北西から）



斜面地区（東から）



平坦面地区調査状況（西から）



1号塚調査状況（南から）



1号塚調査状況（南から）



平坦面地区調査状況（西から）



1号塚遺物出土状況



1号塚遺物出土状況



1号塚遺物出土状況



1号塚周溝検出状況（南から）



1号塚周溝検出状況（東から）



春木 A・B 遺跡 2 区遺構検出状況（西から）



3区検出遺構（西から）



3区小穴掘削状況（北から）



5区土層堆積状況（東から）



新庄遺跡 A 区掘立柱建物 1 (西から)



A 区生垣状痕跡 (西から)



A 区道状遺構検出状況 (西から)



A 区道状遺構掘削状況 (西から)



B 区土坑 1 遺物出土状況 (北から)



B 区溝 4 遺物出土状況 (南から)



B 区河道掘削状況 (西から、62年度調査)



B 区河道掘削状況 (南東から、63年度調査)



C区道構検出状況（北から）



C区溝1・溝2等検出状況（南から）



C区河道から引き込む箇所を検出状況（南から）



C区溝4土器ダマリ（北東から）



C区溝2遺物出土状況（南から）



C区溝2土層断面（北から）



C区溝4完掘状況（北から）



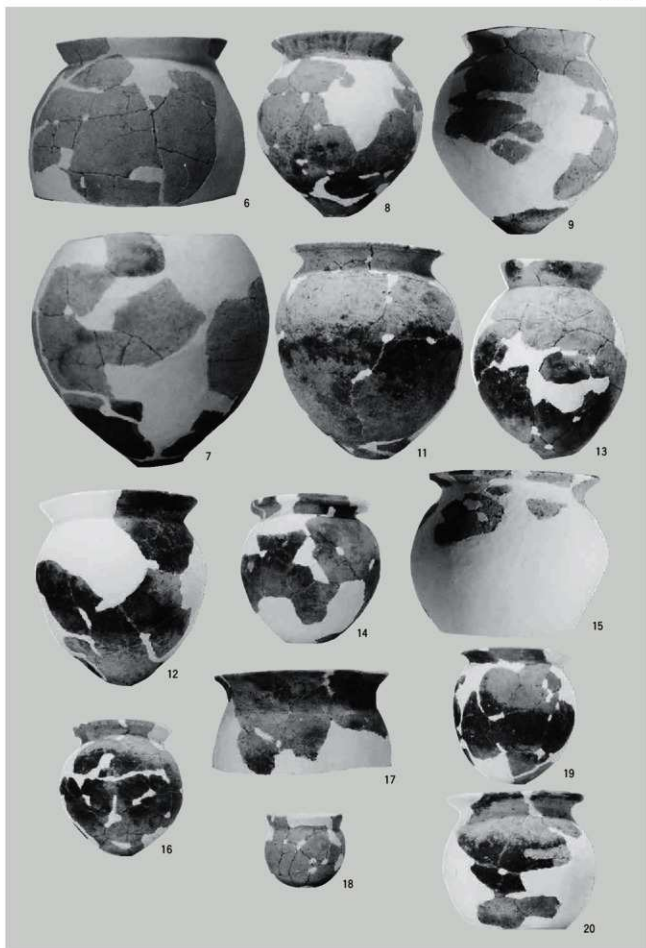
C区河道完掘状況（北東から）



A区発掘状況（南から）

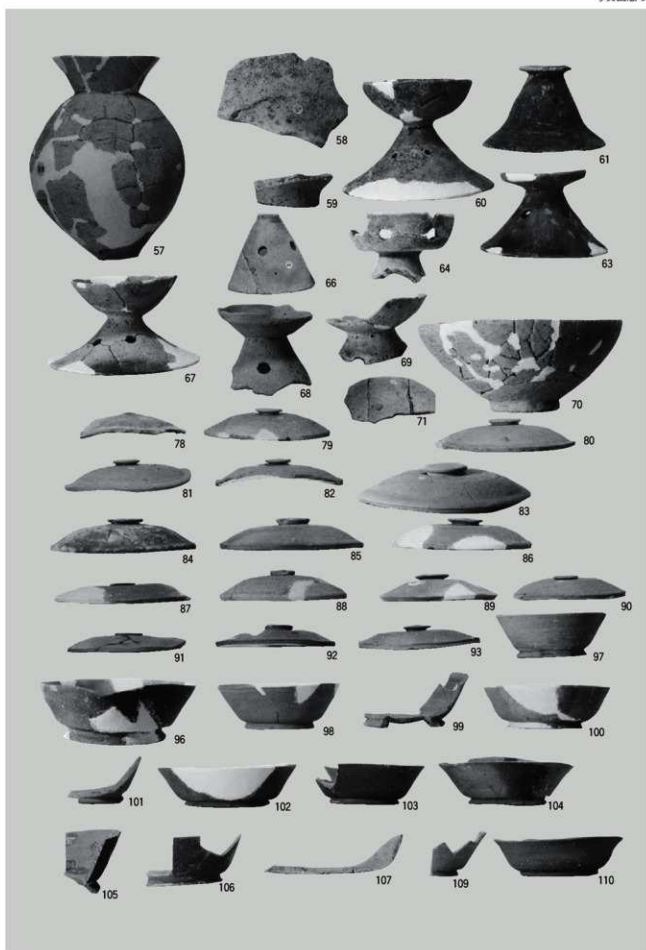


C区発掘状況（西から）

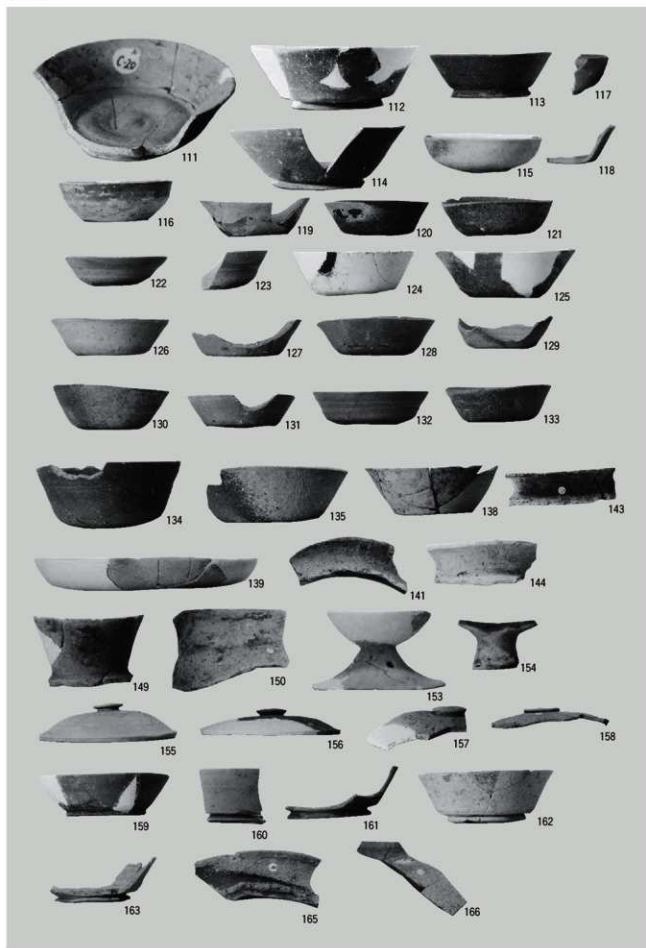


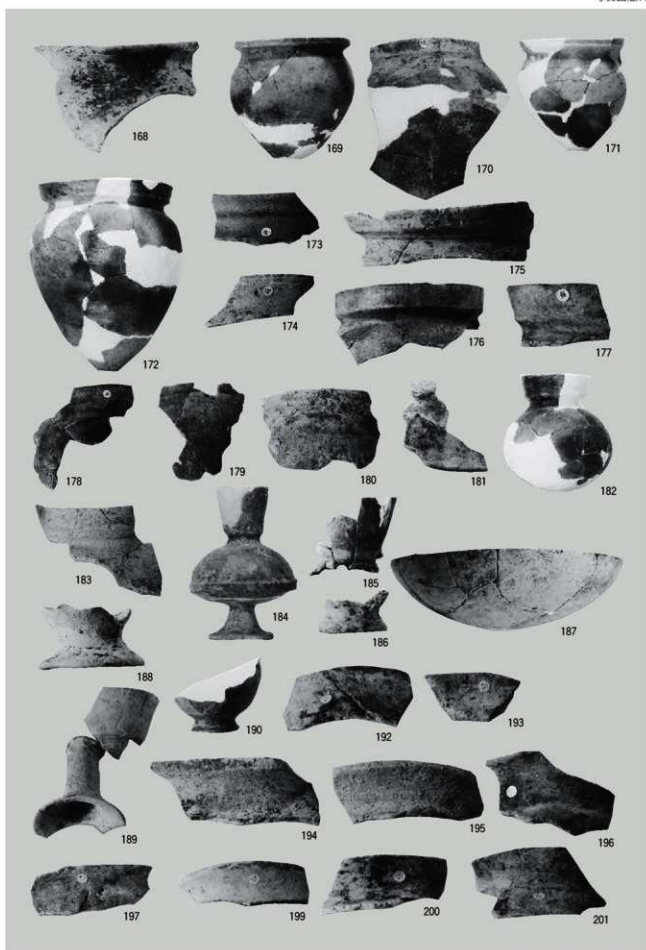
出土土器

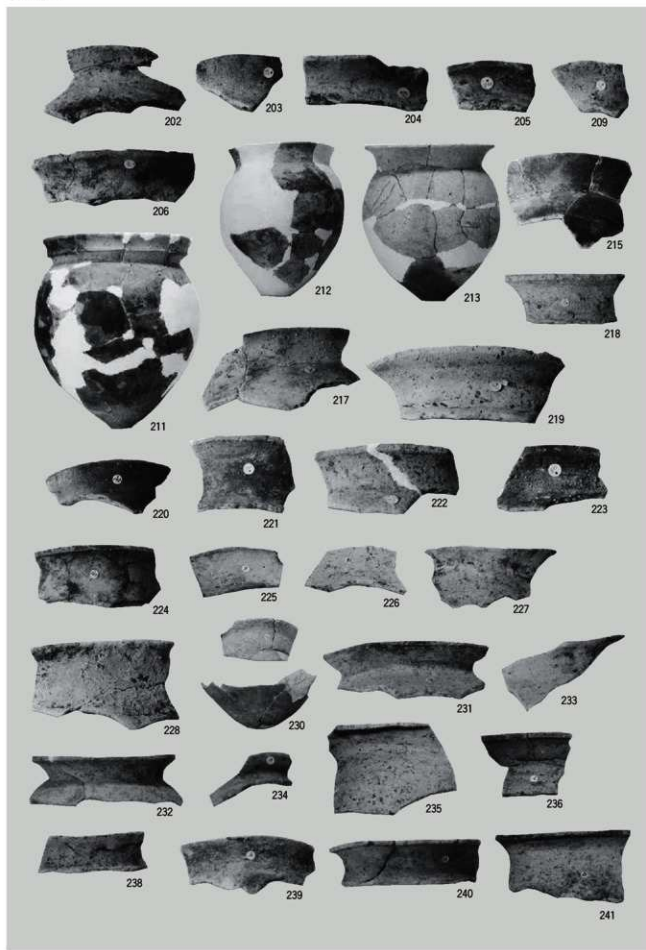


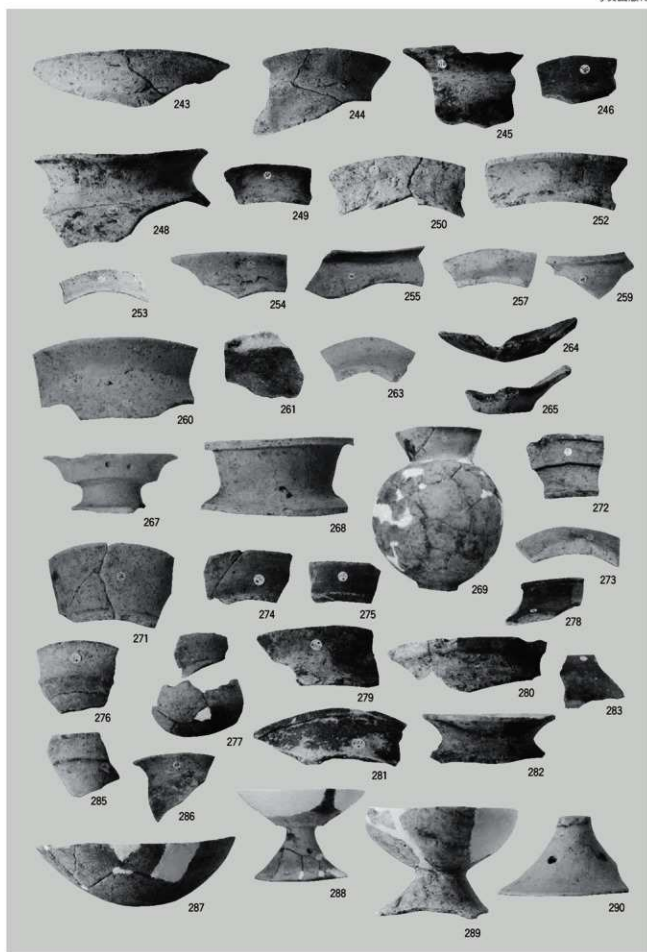


出土土器





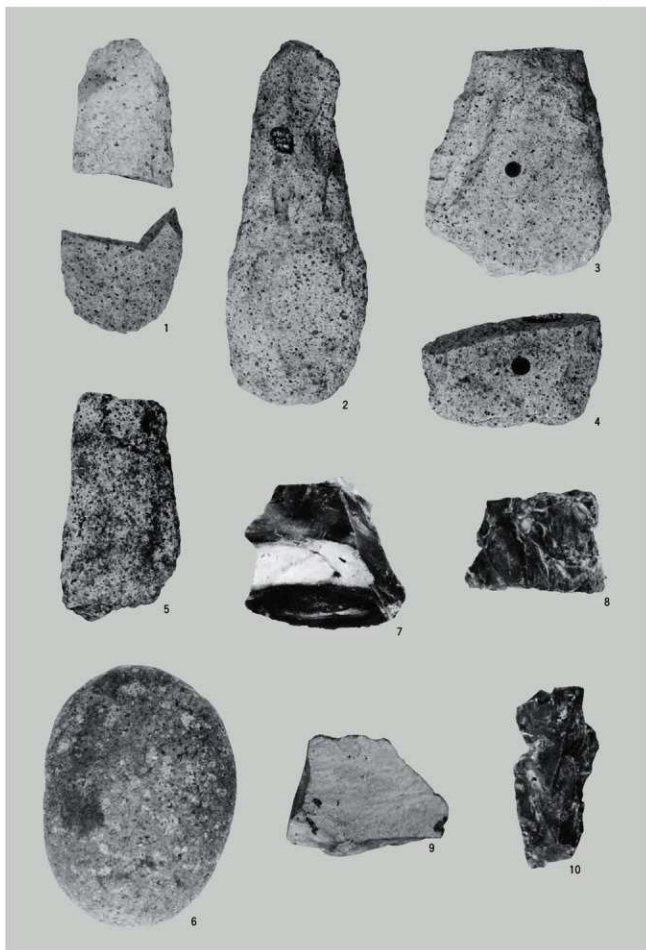




出土土器



出土土器



出土石器



11



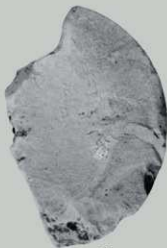
12



13



14



15

報告書抄録

ふりがな	なかのともちはるき A・B いせき しんじょういせき							
書名	中能登町 春木 A・B 遺跡 新庄遺跡							
副書名	県単道路改良事業一般県道良川磯辺線に係る埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	岡本恭一							
編集機関	財団法人 石川県埋蔵文化財センター							
所在地	〒920-1336 石川県金沢市中戸町18番地1 電話 076-229-4477							
発行機関	石川県教育委員会・財団法人 石川県埋蔵文化財センター							
発行年月日	2009年3月31日							
ふりがな 所取遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯 (新)	東経 (新)	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
石川県 中能登町 春木 A・B 遺跡 新庄遺跡	石川県 中能登町 春木 新庄	17407	32056	37度 0分 12秒	136度 54分 37秒	1985 ～ 1987	4,000㎡	道路整備 事業
			32058	37度 0分 8秒	136度 54分 39秒	1987 ～ 1988		
所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
春木 A・B 遺跡	墳墓	中世	塚		珠洲焼・土師質小皿			
新庄遺跡	集落跡	弥生	溝		弥生土器			
		古墳	河道		土師器			
	集落跡	古代	掘立柱建物		土師器 須恵器			
	集落跡	中世	掘立柱建物		珠洲焼、陶磁器			
要約	<ul style="list-style-type: none"> ・春木 A・B 遺跡では中世の塚を確認した。 ・新庄遺跡では古墳時代の溝、河道を確認、また、奈良時代の掘立柱建物や中世の垣根と道を確認した。 							

中能登町 春木 A・B 遺跡 新庄遺跡

発行日 平成21（2009）年3月31日

発行者 石川県教育委員会

〒920-8575 石川県金沢市鞍月1丁目1番地

電話 076-225-1812（文化財課）

財団法人 石川県埋蔵文化財センター

〒920-1336 石川県金沢市中戸町18番地1

電話 076-229-4477

E-mail address mail@ishikawa-maibun.or.jp

印刷 株式会社 橋本確文章